



モニタリング

- [ベースステーション Web ページ](#) (1 ページ)
- [ハンドセットステータスの表示](#) (73 ページ)
- [のサイト調査を実施する](#) (73 ページ)

ベースステーション Web ページ

ベースステーションの Web ページを使用して、ベースステーションを構成し、ステータスと統計情報を取得できます。

すべてのページは、管理者ビューで使用できます。管理者ビューでベースステーションの Web ページにアクセスする方法については、[管理 Web ページにログインする](#)を参照してください。

ユーザビューでは、いくつかのページを使用できます。ユーザビューでベースステーションの Web ページにアクセスする方法については、[ユーザ Web ページにサインインする](#)を参照してください。

特に指定されていない限り、Web ページは管理者ビューにのみ表示されます。

関連トピック

[ベースステーションアカウント](#)

ようこそ/ステータス Web ページのフィールド

これらは、ベースステーションのウェルカム/ステータスウェブページに表示されるフィールドです。このフィールドは読み取り専用です。

ページは、[管理者とユーザビュー]に表示されます。

表 1: ようこそ/ステータス Web ページのフィールド

フィールド	説明
システム情報 (System Information)	マルチセルモードが有効か無効かを識別します。 マルチセルの情報は、210 マルチセルベースステーションにのみ表示されます。
電話タイプ	ベースステーションのハードウェアバージョン (IPDECT-Vx) とタイプ (DBS-110-3PCまたはDBS-210-3PC) を識別します。
システムタイプ (System Type)	有効なプロトコルを識別します。
RF バンド	システムによって使用される無線周波数 (RF) 帯域を識別します。 RF 帯域は、機器が設置されている国に固有です。
現在のローカル時間	システムの現在の日付と時刻を識別します。
操作時刻	前回の再起動以降の日数、時間、分、秒単位の時間を示します。
RFPI アドレス	ベースステーションの無線固定部品識別 (RFPI) を識別する。
MAC アドレス	ベースステーションの MAC アドレスを識別します。
IP アドレス	ベースステーションに割り当てられた IP アドレスを識別します。
製品構成	将来使用するために予約されています。
ファームウェアバージョン	ベースステーションで現在動作しているファームウェアのバージョンとファームウェアの日付を示します。
ファームウェア URL	ファームウェアアップデートサーバの IP アドレスとサーバ上のファームウェアパスを識別します。
Reboot	過去6回の再起動のエントリを日付、時刻、再起動の種類、ファームウェアのバージョンと一併に表示します。 再起動の種類には、通常の再起動、強制再起動、停電、予期しない再起動があります。
ベースステーションステータス	現在のステータスを識別します。 <ul style="list-style-type: none"> • アイドル - アクティブコールなし • 使用中 - 1 つ以上のアクティブコール

フィールド	説明
このベースステーションの SIP アイデンティティステータス	<p>ベースステーションに設定されている内線番号と内線番号のステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • OK - ハンドセットは OK です。 • SIP エラー - ハンドセットに SIP 登録エラーがあります。

内線番号 Web ページのフィールド

これらは、ベースステーションの内線 Web ページに表示されるフィールドです。

ページは、[管理者とユーザビュー]に表示されます。

このセクションは、ファームウェアリリース 4.7 以降に適用されます。ファームウェアリリース V450 および V460 のページについては、[ファームウェアリリース V450 および V460 の拡張機能 Web ページのフィールド \(67 ページ\)](#) を参照してください。

表 2: [General] セクション


フィールド	目次	説明
AC	4 桁の数値コード	<p>ベースステーションのアクセスコード (AC) を識別します。</p> <p>このフィールドは、管理ビューで変更する必要があります。</p>



表 3: 内線番号セクション

フィールド	目次	説明
Idx	このフィールドは読み取り専用です。	ハンドセットのインデックスを識別します。

フィールド	目次	説明
内線番号、情報	このフィールドは読み取り専用です。	<p>ハンドセットの固有の DECT 識別番号である International Portable Equipment Identity (IPEI) を示します。</p> <p>このフィールドは、ターミナルページのハンドセットについての詳細情報へのリンクです。</p> <p>IPEI リンクの下に、ハンドセットと内線番号のステータスが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ステータス:色付きの点は、次のステータスを示しています。 <ul style="list-style-type: none"> • 緑: ハンドセットが登録されています。 赤: ハンドセットが取り外されています。 • 内線番号: 内線の名前 <p>2 回線割り当てられている場合、ハンドセットはリストに 2 回表示されます。</p>
ステータス		<p>このフィールドは、ファームウェアリリース 4.8 で新規に追加されています。</p> <p>色付きの点は、次のステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑: ハンドセットが登録されています。 • 赤: ハンドセットが取り外されています。
[内線番号 (Extension)]		<p>このフィールドは、ファームウェアリリース 4.8 で新規に追加されています。</p> <p>内線の名前を示します。</p> <p>2 回線割り当てられている場合、ハンドセットはリストに 2 回表示されます。</p>
場所 (Location)	このフィールドは読み取り専用です。	<p>ハンドセットが通信する接続済みのベースステーションまたはリピーターを指定します。</p>
端末の位置	このフィールドは読み取り専用です。	<p>このフィールドは、ファームウェアリリース 4.7 で新規に追加されています。</p> <p>PRN 番号とベースステーションの名前を示します。</p>

フィールド	目次	説明
端末状態	このフィールドは読み取り専用です。	<p>受話器の現在の状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 現在の@RPNxx: ハンドセットはベースステーションRPNxxに接続されています。 • デタッチされている: ハンドセットが接続されていません(たとえば、電源が切れているか、登録されていないなど)。 • 場所: ハンドセットが特定のベースステーションと通信するように設定されていますが、接続できません。たとえば、ハンドセットの電源が入っていても、ベースステーションの電源が切れている場合に表示されます。 • 削除されている: ハンドセットが特定の時間(通常は1時間)ベースステーションに接続されていません。
ターミナルタイプ、FW 情報	このフィールドは読み取り専用です。	ハンドセットのモデル番号とファームウェアのバージョンを識別します。

フィールド	目次	説明
FWU 進捗状況	このフィールドは読み取り専用です。	<p>ファームウェアアップデート (FWU) 状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ - sw バージョンフィールドが 0 に設定されていることを示します。 ファームウェアアップデートページ。 • 初期化: 更新プロセスが開始されていることを示します。 • X%: ダウンロードの進捗状況を示します。 X は進捗量 (0~100) です。 • X%の確認: 使用前にファームウェアの検証が進行中であることを示します。 • 充電の待機: 新しいファームウェアをインストールするために、ファームウェアのダウンロードが完了し、ハンドセットを充電器に入れる必要があることを示します。 • Conn.term.wait: リピーターファームウェアのアップデートが完了し、リピータのリセットが進行中であることを示します。 • 完了: ファームウェアのアップデートが完了したことを示します。 • エラー: 更新が成功しなかったことを示します。考えられる原因は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • ファイルが見つかりません。 • ファイルが無効です。
電池残量	このフィールドは読み取り専用です。	<p>このフィールドは、ファームウェアリリース 4.7 で新規に追加されています。</p> <p>ハンドセットの現在の充電レベルのスナップショットを表示します。</p> <p>電池残量、RSSI、および Meas を更新するには、IPEI チェックボックスの左にある 更新  をクリックします。</p>

フィールド	目次	説明
RSSI	このフィールドは読み取り専用です。	このフィールドは、ファームウェアリリース 4.7 で新規に追加されています。 接続されているベースステーションまたはリピーターの受信信号強度インジケータ (RSSI) のスナップショットを表示します。 電池残量、RSSI、および Meas を更新するには、IPEI チェックボックスの左にある更新  をクリックします。
測定時刻 [分:秒]	このフィールドは読み取り専用です。	このフィールドは、ファームウェアリリース 4.7 で新規に追加されています。 バッテリーおよび RSSI 情報がハンドセットからキャプチャされてからの時間を分と秒で表示します。 電池残量、RSSI、および Meas を更新するには、IPEI チェックボックスの左にある更新  をクリックします。

拡張 Web ページのフィールドの追加または編集

これらは、ベースステーションの内線を追加するそして内線の編集ウェブページに表示されるフィールドです。

表 4: 内線 Web ページのフィールドを追加する

フィールド	目次	説明
回線名	文字列 文字の長さが、1 ~ 7 文字の場合。	着信呼および発信呼の回線名を示します。
Terminal	選択 : <ul style="list-style-type: none"> • 新ターミナル • ターミナル Idx 1 • ターミナル Idx 2 	拡張機能の割り当て方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 新しい端末 - 新しいハンドセットが設定されています。 • Terminal Idx x : (Servers ページから) 既存のハンドセットのインデックスを識別します。 <p>2番目の内線番号をハンドセットに割り当てるときに使用されます。</p>

フィールド	目次	説明
[内線番号 (Extension)]	ディジットストリング	電話番号を識別します。 拡張機能は、ハンドセットが通話を発信して受信する前に、SIPサーバ上で設定する必要があります。 拡張子は、ハンドセットのメイン画面に表示されます。
[認証ユーザ名 (Authentication User Name)]	文字列	コール制御システムでハンドセットに割り当てられたユーザ名を識別します。 ファームウェアリリース4.7では、名前は最大128文字までである必要があります。
認証パスワード (Authentication Password)	文字列	コール制御システムでユーザのパスワードを識別します。 ファームウェアリリース4.7では、名前は最大128文字までである必要があります。
表示名	文字列	拡張機能に表示する名前を指定します。 この名前は、日付と時刻の直後にメイン画面に表示されます。
XSI ユーザ名	文字列	BroadSoft XSI 電話帳のユーザ名を指定します。 ファームウェアリリース4.7では、名前は最大128文字までである必要があります。
XSI パスワード	文字列	BroadSoft XSI 電話帳のパスワードを指定します。 ファームウェアリリース4.7では、名前は最大128文字までである必要があります。
Mailbox Name	文字列	ボイスメールシステムのユーザ名を指定します。
メールボックス番号 (Mailbox Number)	ディジットストリング	ボイスメールシステムにダイヤルする番号を指定します。この番号は、SIPサーバで有効にする必要があります。 有効な内容は0-9、*、#です。
サーバ	IPアドレスのドロップ ダウンリスト	コール制御システムの SIP サーバアドレスを識別します。

フィールド	目次	説明
コール待機機能	機能のステータス : <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 (デフォルト) 	コールウェイティングが電話で利用可能かどうかを識別します。
ブロードワークスビジーランプフィールドリスト URI	機能のステータス : <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	ビジーランプフィールド (BLF) 情報に使用する URL を指定します。 BroadSoft SIP サーバにのみ適用されます。
BroadWorks 共有コールピアランス	機能のステータス : <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	行が共有されているかどうかを示します。 BroadSoft SIP サーバにのみ適用されます。SIP サーバで有効にする必要があります。
BroadWorks Feature イベントパッケージ	機能のステータス : <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	BroadWorks パッケージが利用可能かどうかを示します。機能は次のとおりです：妨害しないで、転送する (すべて、ビジー、無回答)。 BroadSoft SIP サーバにのみ適用されます。SIP サーバで有効にする必要があります。
無条件番号転送 (2 フィールド)	ディジットストリング : <ul style="list-style-type: none"> • 有効な内容は 0-9、*、# です。 機能のステータス : <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	次の点を特定できる <ul style="list-style-type: none"> • コールフォワード無条件が利用可能な場合 • 電話機に着信呼が到着したときにダイヤルする番号。 すべての着信への適用

フィールド	目次	説明
無応答番号転送 (3 フィールド)	<p>ディジット ストリング :</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効な内容は 0-9、*、# です。 <p>機能のステータス :</p> <ul style="list-style-type: none"> [無効(Disabled)] (デフォルト) 有効 <p>秒単位の時間 :</p> <ul style="list-style-type: none"> 範囲は 0 ~ 255 です デフォルト 90 	<p>次の点を特定できる</p> <ul style="list-style-type: none"> コール転送の場合、無応答が利用可能です。 着信がハンドセットに着信し、応答されないときにダイヤルする番号。 通話が未応答であるとみなされるまでの待機時間 (秒単位)。 <p>すべての未応答のコールに適用されます。</p>
ビジー番号での転送 (2 フィールド)	<ul style="list-style-type: none"> 有効な内容は 0-9、*、# です。 <p>機能のステータス :</p> <ul style="list-style-type: none"> [無効(Disabled)] (デフォルト) 有効 	<p>次の点を特定できる</p> <ul style="list-style-type: none"> 話中転送が利用可能な場合。 ハンドセットがビジーのときにダイヤルする番号。ハンドセットにすでに 2 つのコール (1 つはアクティブ、もう 1 つは保留中) がある場合、そのハンドセットはビジーです。 <p>ハンドセットが既存の通話中であるときに適用されます。</p>
[非通知着信拒否(Reject Anonymous Calls)]	<p>値 :</p> <ul style="list-style-type: none"> [無効(Disabled)] (デフォルト) 有効 	<p>ハンドセットが発信者 IC を持たない通話を拒否するかどうかを示します。</p>
番号を隠す	<p>値 :</p> <ul style="list-style-type: none"> オフ 次のコール用にオンにする 常時稼働 	<p>発信者 ID なしで電話をかけるようにハンドセットを設定できるかどうかを示します。</p>

フィールド	目次	説明
取り込み中	値 : <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	ユーザが妨害 (DND) モードをオンにできるかどうかを示します。

ターミナル Web ページのフィールド


これらは、ベースステーションのターミナルウェブページに表示されたフィールドです。この画面を表示するには内線ページにあるハンドセットのIPEI番号をクリアします。

ページは、[管理者とユーザビュー]に表示されます。一部のフィールドはユーザビューでは使用できません。

このセクションは、ファームウェアリリース 4.7 に適用されます。ファームウェアリリース V450 および V460 のページについては、[ファームウェアリリース V450 および V460 の端末 Web ページのフィールド \(70 ページ\)](#) を参照してください。

表 5: ターミナル Web ページのフィールド

フィールド	目次	説明
IPEI	10 文字列	ハンドセットの国際携帯機器識別情報 (IPEI) を識別します。各ハンドセットには固有の IPEI 番号があり、その番号はハンドセットバッテリーの下のラベルとハンドセットボックスのラベルに表示されます。 このフィールドを変更すると、ハンドセットの登録が解除されます。
ターミナルとペアリング	値 : <ul style="list-style-type: none"> • ペアになっていない端末 • ハンドセット ID 	ハンドセットとペアになっている端末を識別します。
AC	4 桁のコード	ハンドセットを登録するために使用されたアクセスコードを識別します。ハンドセット登録後、このコードは使用されません。 (注) セキュリティを強化するためにシステムを設定するときは、これをデフォルトから変更することをお勧めします。

フィールド	目次	説明
アラームライン	値： <ul style="list-style-type: none"> アラーム行が選択されていない 電話番号 (Telephone number) 	アラームコールに使用する回線を指定します。
アラーム番号	電話番号	ユーザがダイヤルする番号を指定します。緊急  ボタンを 3 秒以上押します。
ダイヤルプラン ID	値：1~10	管理者ビューのみ ダイヤルプラン Web ページのフィールド (52 ページ) で設定されているダイヤルプランのインデックスを識別します。
[内線 (Extensions)]		
VoIP Idx	このフィールドは読み取り専用です。	ハンドセットのインデックスを識別します。
[内線番号 (Extension)]	このフィールドは読み取り専用です。	設定された拡張の名前を識別します。 拡張機能は、ハンドセットが通話を発信して受信する前に、SIP サーバ上で設定する必要があります。 管理者ビューのみ: このフィールドは、 拡張の編集 ページのハンドセットの詳細情報へのリンクです。
表示名	このフィールドは読み取り専用です。	電話番号を識別します。 この情報は、ハンドセットのメイン画面に表示されます。
サーバ	このフィールドは読み取り専用です。	コール制御システムの SIP サーバアドレスを識別します。
サーバエイリアス	このフィールドは読み取り専用です。	通話制御システムの名前を識別します。
状態 (State)	このフィールドは読み取り専用です。	SIP 登録状態を識別します。フィールドが空の場合、ハンドセットは SIP 登録されていません。

フィールド	目次	説明
ビーコン設定		
受信モード		管理者ビューのみ 将来使用するために予約されています。
送信間隔		管理者ビューのみ 将来使用するために予約されています。
Alarm Profiles		
プロファイル 0~7		管理者ビューのみ アラームのリストを示します。
アラームタイプ	アラームの名前	管理者ビューのみ 特定のプロファイルに対して設定されているアラームの種類を示します。アラームが設定されていない場合、フィールドには設定されていませんと表示されます。
[アラームの種類] チェックボックス	チェックボックス (デフォルトではチェックされていない)	管理者ビューのみ 受話器でアクティブなアラームの種類を識別します。
共有コールピアランスの設定		
Idx 1~8		管理者ビューのみ 拡張機能のインデックス
[内線番号 (Extension)]	内線番号	管理者ビューのみ 共有コールピアランスをサポートするハンドセット回線を識別します。機能をサポートする回線がない場合は、フィールドに設定されていませんと表示されます。
ローカル電話帳をインポート	ファイル名	ローカルディレクトリをコンマ区切り値 (CSV) 形式でコンピュータから電話機にアップロードするために使用されます。 詳細については、 ローカル連絡先 を参照してください。

フィールド	目次	説明
ローカル電話帳をエクスポート		電話機からローカルディレクトリを CSV 形式でコンピュータにエクスポートするために使用されます。 詳細については、 ローカル連絡先 を参照してください。

サーバ Web ページのフィールド

これらはセットアップを開始するとベースステーションのサーバウェブページ、またはサーバの追加 Web ページに表示されるフィールドです。

表 6:サーバ Web ページのフィールド

フィールド	目次	説明
サーバエイリアス	文字列	コール制御サーバの短縮名を識別します。
NAT の適応	値： <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 (デフォルト) 	SIP 対応ルータで SIP メッセージを処理する方法を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • Enabled - システムが REGISTER 要求に対する SIP 応答を経由ヘッダー受け取った (たとえば、「Via : SIP /2.0/UDP 10.1.1.1:4540;受信 68.44.20.1」)、ベースは受信したパラメータからの IP アドレスにその連絡先情報を適合させます。ベースは、更新された連絡先情報を有する別の REGISTER 要求を発行する。 • 無効 - 受信したパラメータは無視されます。
Registrar	IP アドレス、DNS アドレス または URL	SIP サーバ (呼制御システム) プロキシサーバを識別します。 アドレスのポート番号は任意です。
アウトバウンドプロキシ	IP アドレス、DNS アドレス または URL	セッションボードコントローラまたは SIP サーバのアウトバウンドプロキシを識別します。 アウトバウンドプロキシをプライベート NAT ゲートウェイのアドレスとポートに設定して、SIP メッセージが NAT ゲートウェイ経由で送信されるようにします。

フィールド	目次	説明
会議サーバの有効化	値 ・[無効(Disabled)] (デフォルト) ・有効	外部会議サーバの使用を制御します。 ・無効: 外部会議サーバが設定されていません。ユーザが会議を開始すると、ハンドセットは内部のサードパーティ会議機能を使用して会議を開始します。 ・有効: 外部会議サーバが設定されています。ユーザが会議を開始すると、ハンドセットが 会議サーバ フィールドで設定された会議サーバ上で会議を開始します。
会議サーバ	IP アドレス	利用可能な場合、サービスプロバイダの会議サーバの IP アドレスを識別します。
コールログサーバ	IP アドレス	XSI コールログサーバを示します。 設定されると、ハンドセットは通話記録サーバに通話を記録します。ブランクのままにすると、ハンドセットはローカル通話記録を使用します。
再登録時間	整数 範囲: 1-65636 デフォルト: 3600	有効な SIP 登録の時間を秒単位で示し、SIP アカウントの SIP 登録間の最大時間を表します。 (注) 60 秒未満に設定しないことをお勧めします。
再試行間隔の登録	整数 範囲: 1 ~ 2147483 デフォルト: 30	登録が失敗した後に、ハンドセットを再登録するまで待機する時間を秒単位で指定します。登録の失敗メッセージが登録の再試行 RSCの場合に使用されます。
登録再試行間隔の長さ	整数 範囲: 1 ~ 2147483 デフォルト: 1200	登録が失敗した後に、ハンドセットを再登録するまで待機する時間を秒単位で指定します。登録失敗メッセージが登録の再試行 RSC以外の場合に使用されます。 このフィールドが0に設定されている場合、ハンドセットは登録を再試行しません。 このフィールドには、 登録再試行間隔 の値よりも大きな間隔を指定する必要があります。
登録の再試行 RSC		再試行をトリガーする応答 SIP コード (RSC) を指定します。 最大4つのコンマ区切りの値を設定して、ワイルドカード文字 (?) を使用できます。たとえば、 5?? 、 6?? と入力します。

フィールド	目次	説明
SIP セッション タイマー	値 <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	コールのキープアライブメカニズムを示します。これは、セッションリフレッシュ信号間の最大時間を指定します。電話機がコール中で、設定された時間内にセッションリフレッシュ信号を送信しない場合、コールは終了します。無効にすると、セッションタイマーは使用されません。
セッションタイマー値	整数 範囲：90-65636 デフォルト：1800	SIP セッションタイマーの時間の長さを秒単位で示します。
[SIP トランスポート (SIP Transport)]	値： <ul style="list-style-type: none"> • UDP (デフォルト) • TCP • TLS • 自動 	SIP 転送のプロトコルを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • UDP: UDP を使用した SIP の使用を強制します。NAPTR ルックアップが成功し、エントリが返された場合、SIP/UDP エントリのみが使用されます。 • TCP: TCP を介した SIP の使用を強制します。NAPTR ルックアップが成功し、エントリが返された場合、SIP/TCP エントリのみが使用されます。 • TLS: TCP を介した TLS の使用を強制します。NAPTR ルックアップが成功し、エントリが返された場合、SIPS/TCP エントリのみが使用されます。 • 自動: NAPTR ルックアップが成功する必要があります。DNS NAPTR ルックアップからのエントリの順序 (通常、TLS、TCP、UDP) は、考慮されます。TLS、TCP、および UDP はすべて受け入れられます。SCTP は受け入れられません。
信号 TCP 発信元ポート	値： <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 (デフォルト) 	送信元ポートが SIP メッセージで明示的にシグナリングされる必要があるかどうかを示します。SIP トランスポートが TCP または TLS に設定されている場合は、SIP 拡張機能ごとに接続が確立されます。接続の送信元ポートは TCP スタックによって選択され、ローカル SIP ポートパラメータは使用されません。
SIP 拡張機能ごとに 1 つの TCP 接続を使用する	値： <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	TCP / TLS 接続の使用方法を示します。SIP 転送に TCP または TLS を使用する場合、接続には 2 つの選択肢があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 無効 - 各ベースステーションには、ハンドセットが共有する単一の TCL / TLS 接続があります。 • 有効 - 各回線には個別の TCL / TLS 接続があります。

フィールド	目次	説明
自ベースステーションからの RTP	値 : <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	RTP ストリームが送信されることを示します。 このフィールドは、Cisco IP DECT 210 マルチセルベースステーションにのみ表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 無効 - RTP ストリームは、ハンドセットに関連付けられたベースステーションから送信されます。 • 有効 - RTP ストリームは SIP 登録があるベースステーションから送信されます。 シングルベースシステムの場合このフィールドを 有効 に設定します
[Keep Alive]	値 : <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 (デフォルト) 	該当する NAT 対応ルータのポートが 30 秒間開いているかどうかを示します。
ハンドセットアイドル画面に内線番号を表示する	値 : <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 (デフォルト) 	ハンドセットアイドル画面に内線が表示されているかどうかを示します。
ホールド行動	値 : <ul style="list-style-type: none"> • RFC 3264 • RFC 2543 (デフォルト) 	ハンドセットでホールドが動作する方法を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • RFC 3264 - SDP の接続情報部分にはエンドポイントの IP アドレスが含まれています。方向属性はコンテキストに基づいてのみ、recvonly または inactive です。 • RFC 2543 - SDP の接続情報部分は 0.0.0.0 に設定され、direction 属性はコンテキストに基づいてのみ送信、recvonly、または非アクティブになります。
ローカルリングバック トーン (Local Ring Back Tone)	値 <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 (デフォルト) 	着信音がハンドセットによってローカルに生成されるかどうかを制御します。 <ul style="list-style-type: none"> • 無効 - ハンドセットは着信音を生成しません。 • 有効 (デフォルト) - ハンドセットは着信音を生成します

フィールド	目次	説明
リモート着信音制御	値 : <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	コールコントロールシステムがハンドセットの着信音を選択できるかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 無効 (デフォルト) : コール制御システムは着信音を選択できません。 • 有効 - 呼制御システムは着信音を選択できます。
在席転送挙動	値 : <ul style="list-style-type: none"> • 第 2 コールを保留 • 第 2 コールを保留しない 	出席転送中に 2 番目の通話を保留にするかどうかを示します。 <p>2 つの通話があり、1 つの通話が保留されている場合、出席転送を実行することができます。転送 ソフトキーが押されたら、SIPREFER 要求が送信される前に、アクティブなコールが保持されます。一部の PBX システムでは、2 回目のコールが保留になることが期待されないため、出席した転送は失敗します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 第 2 コールを保留 - 第 2 コールは保留になります。 • 第 2 コールを保留しない - 第 2 コールを保留にしません。
独自のコーデック優先度を使用する	値 : <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	着信コールのコーデック優先度を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 無効 - 発信側の優先順位を使用します。 • 有効 - システムコーデックの優先順位を使用します。 <p>たとえば、有効になっていて、ベースに G722 がトップコーデックとして存在し、発信側が Alaw を上に、G722 をさらにリストダウンしている場合、G722 コーデックがコール用に選択されます。</p>
DTMF シグナリング	値 : <ul style="list-style-type: none"> • SIP INFO • RFC 2833 (デフォルト) • RFC 2833 および SIP INFO 	DTMF の処理方法を制御します。 <ul style="list-style-type: none"> • SIP INFO-DTMF トーンは、音声ストリームと同じレイヤーで処理されます。 • RFC 2833-DTMF トーンは、音声ストリームとは異なるインターネット層のデータパケットで送信されません。 • RFC 2833 および SIP INFO-DTMF トーンは、同じレイヤーまたは異なるレイヤーで処理されます。
DTMF ペイロードタイプ	整数 デフォルト : 101	DTMF シグナリングフィールドが RFC 2833 に設定されている場合の DTMF ペイロードのタイプを示します。

フィールド	目次	説明
発信者 ID ソース優先度を削除する	値： <ul style="list-style-type: none"> • PAI - FROM (デフォルト) • 変化前 • ALERT_INFO - PAI - FROM 	発信者 ID の発信元に使用される SIP 情報が含まれます。
ブラインド転送の有効化	値： <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	直接転送を使用できるかどうかを示します。
コーデック優先度 コーデックの最大数は、5です。	値、1つ以上の： <ul style="list-style-type: none"> • G711A • G711U • G722 • G726 • [G729] • OPUS 	ベースステーションがオーディオの圧縮と送信に使用するコードの優先順位を指定します。コーデックの順序を変更することができます。 リストに表示するために OPUS を取得するには、 コーデックのリセット をクリックします。 (注) リストを何らかの方法で変更した場合は、このページの コーデックをリセット および マルチセルページの再起動チェーン を押す必要があります。 ファームウェアリリース 4.7 からは、リスト内の最初の 5 つのコーデックのみが使用されます。
G729 Annex B	値： <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	G729 の付属書 B が使用されているかどうかを示します。
ptime を使う	値： <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 (デフォルト) 	RTP Packet Size パラメータが使用されているかどうかを示します。

フィールド	目次	説明
[RTPパケットサイズ (RTP Packet Size)]	値 : <ul style="list-style-type: none"> • 20 ms (デフォルト) • 40 ms • 60 ms • 80 ms 	パケットサイズのネゴシエーション時の優先 RTP パケットサイズを示します。
RTCP	値 : <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 (デフォルト) 	RTCP が使用されているかどうかを示します。
セキュア RTP (Secure RTP)	<ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 • オプション • 自動 	使用する RTP のタイプを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 有効: 呼設定時に SDP プロトコルでネゴシエートされたキーを使用して RTP が AES-128 で暗号化されているかどうかを示します。 • オプション: システムが SRTP と RTP を送受信できることを示します。 • 自動: RTP または SRTP を使用するためのメディアのセキュリティを示します。SRTPが使用中の場合、RTPはブロックされます。システムが SRTP を使用している場合、通話キャパシティが減少します。 このオプションは、ファームウェアリリース 4.8 で追加されています。
セキュアな RTP 認証	<ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	安全な RTP が RTP パケットの認証を使用するかどうかを示します。 <p>(注) 有効にすると、ベースは最大 4 つの同時コールをサポートできます。</p>
SRTP クリプトスイート	値 : <ul style="list-style-type: none"> • AES_CM_128_HMAC_SHA1_32 • AES_CM_128_HMAC_SHA1_80 	サポートされている SRTP Crypto Suites のリストを示します。各デバイスは2つのスイートから始まります。スイートの順序を変更することができます。 <p>(注) リストを何らかの方法で変更した場合は、このページの暗号スイートをリセットするを押す必要があります。</p>

フィールド	目次	説明
メディアセキュリティ	値： <ul style="list-style-type: none"> • 有効 • 無効 	このフィールドは、ファームウェアリリース 4.8 で新規に追加されています。 メディアセキュリティを制御する
TLS のメディアセキュリティのみ	値： <ul style="list-style-type: none"> • 有効 • 無効 	このフィールドは、ファームウェアリリース 4.8 で新規に追加されています。 SIP 転送プロトコルが TLS の場合にのみ、メディアのセキュリティを制御します。

ネットワーク設定 Web ページのフィールド

これらは、ベースステーションのネットワーク設定のウェブページに表示されます。

表 7: IP 設定セクションのフィールド

フィールド	目次	説明
DHCP / 静的 IP	値： <ul style="list-style-type: none"> • DHCP (デフォルト) • Static 	デバイスが TCP / IP パラメータを取得する方法を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • DHCP-アドレスプールから自動的に割り当てられます。DHCP を使用する場合、他の IP 設定またはオプションは設定できません。 • 静的 - 手動で設定します。
IP アドレス		デバイスの IPv4 アドレスを示します。 DHCP が有効になっていない場合にのみ変更できます。
サブネットマスク		デバイスの 32 ビットサブネットマスクを示します。 DHCP が有効になっていない場合にのみ変更できます。
デフォルトゲートウェイ		デフォルトのネットワークルーターまたはゲートウェイの IPv4 アドレスを示します。 DHCP が有効になっていない場合にのみ変更できます。

フィールド	目次	説明
DNS プライマリ (DNS Primary)		ドメインネームシステム (DNS) クエリに使用されるメインサーバの IPv4 アドレスを示します。 DHCP を使用しない場合は必須です。 DHCP が有効になっていない場合にのみ変更できます。
DNS セカンダリ (DNS Secondary)		代替 DNS サーバを示します。 DHCP が有効になっていない場合にのみ変更できます。
MDNS	値： <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	マルチキャストドメインネームシステム (MDNS) が使用可能かどうかを示します。 DHCP が有効になっていない場合にのみ変更できます。

表 8: NAT 設定セクションのフィールド

フィールド	目次	説明
STUN を有効にする	値： <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	NAT (STUN) 用の RFC3489 セッショントラバーサル UDP が使用されているかどうかを示します。
[STUNサーバ (STUN Server)]	IPv4 アドレスまたは URL	STUN サーバの場所を示します。
STUN Bindtime 決定	値： <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 (デフォルト) 	ベースステーションが NAT バインディングから STUN バインドタイムを検出するかどうかを決定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 無効：NAT バインディングは使用できません • 有効：NAT バインディングを使用できます。

フィールド	目次	説明
STUN バインドタイムガード	整数 範囲：0～65535 デフォルト：80	STUN バインディングの存続期間を識別します。
RPORT を有効にします。	値: <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	SIP メッセージで RPORT が使用されているかどうかを示します。
キープアライブ時間	整数 範囲：0～65535 デフォルト：90	NAT バインディングを維持するためのサーバへのキープアライブメッセージの頻度 (秒) を決定します。

表 9: VLAN 設定セクションのフィールド

フィールド	目次	説明
ID	整数 範囲: 0-4094 デフォルト：0	802.1Q VLAN を識別します。
ユーザ優先度	整数 範囲：0～7 デフォルト：0	ユーザの優先順位を定義します。これらの値は、さまざまなクラスのトラフィック（ボイス、ビデオ、データ）に優先順位を付けるために使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 0-ベスト エフォート • 1 つの最低優先度 • 7 つの最高優先度
同期	値： <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 (デフォルト) 	VLAN ID がチェーン内のベースステーション間で自動的に同期するかどうかを示します。 このフィールドは、Cisco IP DECT 210 マルチセルベースステーションにのみ表示されます。

表 10: SIP/RTP 設定セクションのフィールド

フィールド	目次	説明
異なる SIP ポートを使用する	値 : <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	SIP シグナリングポートを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 無効 - Local SIP Port フィールドは、システム内の SIP シグナリングに使用される送信元ポートを指定します。 • 有効 : Local SIP Port フィールドは、最初のユーザエージェント (UA) インスタンスに使用される送信元ポートを指定します。後続の UA は連続するポートを取得します。 シングルベースシステムの場合このフィールドを 有効 に設定します
RTP 衝突検出	値 : <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 (デフォルト) 	<ul style="list-style-type: none"> • ディセーブル - 2 つのソースが同じ SSRC を持つ場合、2 番目のソースは破棄されます。 • 有効 - デバイスはすべてのソースを受け入れます。
常にチェック同期で再起動	値 : <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	新しい構成がロードされたときにベースステーションがリポートするかどうかを示します。
アウトバウンドプロキシモード	値 : <ul style="list-style-type: none"> • 常に使用 (デフォルト) • 初期要求のみ 	アウトバウンドプロキシの使用を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 常に使用 - アウトバウンドプロキシに送信されたすべてのアウトバウンドコール。 • 初期リクエストのみ - 最初の SIP リクエストにはアウトバウンドプロキシを使用します。
フェールオーバー SIP タイマー B	整数 デフォルト : 5	フェールオーバーがトリガーされる前に、SIP サーバからの INVITE メッセージからの応答を待つ時間を示します。
フェールオーバー SIP タイマー F	整数 デフォルト : 5	フェールオーバーがトリガーされる前に、SIP サーバからの非 INVITE メッセージからの応答を待つ時間を示します。

フィールド	目次	説明
フェールオーバー再接続タイマー	整数 デフォルト：60	フェールオーバー中にプライマリサーバを特定するためのベースステーションからのクエリ間の遅延を秒単位で制御します。 このフィールドは、ファームウェアリリース 4.7 で新規に追加されています。
ローカルSIPポート	整数 範囲：0～65535 デフォルト：5060	SIP シグナリング送信元ポートを示します。
SIP ToS / QoS	整数 範囲：0～65535 デフォルト：0x68	IP レイヤの Type of Service (ToS; サービスタイプ) バイトに基づいて、コール制御シグナリングトラフィックのプライオリティを示します。ToS は、パケットベースのネットワークにおける Service (QoS) の品質と同じです。
RTP ポート	整数 範囲：0～65535 デフォルト：16384	RTP オーディオストリーミングに使用する最初の RTP ポートを示します。
RTP ポート範囲	整数 範囲：0～65535 デフォルト：40	RTP オーディオストリーミングに使用するポート数を示します。
RTP ToS / QoS	整数 範囲：0～65535 デフォルト：0xB8	IP 層の ToS バイトに基づいて、RTP トラフィックの優先順位を示します。詳細については、RFC 1349 を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> • ビット 7-5 は優先順位を定義する • ビット 4-2 は ToS を定義する • ビット 1-0 は無視されます。 (注) コストビットはサポートされていません。
[非通知着信拒否(Reject Anonymous Calls)]	値： <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	コールが匿名で行われた場合に拒否されるべきかどうかを示します。

表 11: DHCP オプションセクションのフィールド

フィールド	目次	説明
プラグアンドプレイ	値 : ・無効 ・有効 (デフォルト)	ベースが自動的に DHCP オプション 66 で PBX IP アドレスを受信するかどうかを示します。

表 12: TCP オプションセクションのフィールド

フィールド	目次	説明
TCP のキープアライブ間隔 (TCP keep alive interval)	整数 範囲 : 0 ~ 65535 デフォルト : 120	クライアントが TCP 接続でキープアライブメッセージを送信するまでに待機する時間の長さ (秒単位) を指定します。

表 13: 検出セクションフィールド

フィールド	目次	説明
CDP 送信	値 : ・[無効(Disabled)] (デフォルト) ・有効	ベースでの Cisco Discovery Protocol (CDP) の使用を制御します。CDPの詳細については、 ネットワークプロトコル を参照してください。 ・無効: ベースステーションは CDP メッセージを送信しません。 ・有効: ベースステーションが CDP メッセージを送信します。
CDP 送信遅延	整数 範囲 : 1 ~ 255 デフォルト : 60	デバイスが CDP メッセージ間を待機する時間 (秒単位) を識別します。

管理設定 Web ページのフィールド

これらは、ベースステーションの管理設定基地局のウェブページに表示されるフィールドです。

表 14: 管理設定 Web ページのフィールド

フィールド	目次	説明
ベースステーション名	1〜35 文字	ベースステーションの名前を示します。

表 15: 設定セクションのフィールド

フィールド	目次	説明
管理転送プロトコル	値 : <ul style="list-style-type: none"> • TFTP (デフォルト) • HTTP • HTTPS 	設定ファイルとセントラルディレクトリに割り当てられた転送プロトコルを示します。
HTTP 管理アップロードスクリプト	フォルダまたはパス	構成サーバ上の構成ファイルの場所を示します。 このフィールドは、スラッシュ (/) またはバックスラッシュ (\) で始まらなければなりません。 このフィールドは、管理転送プロトコルが HTTP または HTTPS に設定されている場合にのみ使用できます。
HTTP 管理ユーザ名	8 文字の文字列	構成サーバへのアクセスのためのユーザ名を示します。 このフィールドは、管理転送プロトコルが HTTP または HTTPS に設定されている場合にのみ使用できます。
HTTP 管理パスワード	8 文字の文字列	構成サーバへのアクセスのためのパスワードを示します。 このフィールドは、管理転送プロトコルが HTTP または HTTPS に設定されている場合にのみ使用できます。
工場出荷時設定ボタン	値 : <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 (デフォルト) 	ベースステーションのリセットボタンを使用できるかどうかを示します。無効に設定すると、リセットボタンが押されても何も起こりません。

表 16: テキストメッセージングセクションのフィールド

フィールド	目次	説明
テキストメッセージング	値 : • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 • サーバなしで有効にする	ユーザがテキストメッセージをサポートする他のデバイスにテキストメッセージを送信できるかどうかを示します。 • 無効 : ユーザはテキストメッセージを送信できません。 • 有効 : ユーザは誰にでもテキストメッセージを送信できます。これには、この領域の残りのフィールドを設定する必要があります。 • サーバなしで有効 : ユーザは、システムの他のメンバーにのみテキストメッセージを送信できます。
テキストメッセージ & アラームサーバ	IP アドレスまたは URL	メッセージングとアラームサーバの IP アドレスまたは URL を示します。ユーザがシステム外のユーザとテキストメッセージを交換できるようにアドレスを設定します。 このフィールドを空白のままにすると、ユーザはシステム内でのみ通信できます。
テキストメッセージングポート	デフォルト : 1300	メッセージに使用されるメッセージングおよびアラームサーバポートを示します。ユーザがシステム外のユーザとテキストメッセージを交換できるようにポートを設定します。このフィールドの値は、メッセージサーバによって異なります。 このフィールドを空白のままにすると、ユーザはシステム内でのみ通信できます。
テキスト・メッセージ・キープ・アライブ (m)	範囲 : 0 ~ 65535 デフォルト : 30	キープアライブメッセージの頻度を分単位で示します。
テキスト・メッセージ・レスポンス	範囲 : 0 ~ 65535 デフォルト : 30	システムがメッセージサーバから応答を受信しない場合のタイムアウトを示します。このフィールドは秒単位です。

フィールド	目次	説明
テキストメッセージング TTL	範囲 : 0 ~ 65535 デフォルト : 0	テキストメッセージの生存時間 (TTL) を秒単位で示します。設定されている場合、設定された時間だけメッセージが表示されます。その後、メッセージは自動的に削除されます。デフォルトの 0 は、メッセージが期限切れでないことを意味します。

表 17: 端末セクションのフィールド

フィールド	目次	説明
[キープアライブ (Keep Alive)] (m)	整数 デフォルト : 0	自動緊急通知メッセージをサーバに送信する前にハンドセットが待機する時間を分単位で示します。 0に設定すると、ハンドセットは通知を送信しません。
自動停止アラーム	値 : <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	ハンドセットが自動緊急通知を停止する必要があるかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 無効 : 受話器は通知を停止しません。 • 有効 : 自動停止アラーム遅延に設定された秒数が経過すると、ハンドセットは通知を停止します。
自動停止アラーム遅延	整数 デフォルト : 30	ハンドセットが自動緊急通知を停止するまでの時間 (秒) を示します。

表 18: 構成セクションのフィールド

フィールド	目次	説明
コンフィギュレーションファイルのダウンロード	<p>値:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • ベース特定ファイル (デフォルト) • マルチセル固有のファイル • ベースおよびマルチセル固有のファイル 	<p>ベースステーションの設定ファイルのタイプを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効: ファイルは必要ありません。 • ベース特定ファイル: ベースステーションは、このフォーマットのファイル名が必要です。 <mac address>.cfg • マルチセル固有のファイル: ベースステーションは、この形式でファイル名を要求します。 &lt;チェーン ID> .cfg • ベースおよびマルチセル固有ファイル: ベースステーションは、次のフォーマットのファイル名が必要です。 <ul style="list-style-type: none"> • <mac address>.cfg • &lt;チェーン ID> .cfg
構成サーバのアドレス	IP アドレスまたは URL	ベースステーションに構成ファイルを提供するサーバまたはデバイスを識別します。
ベース特定ファイル		基本構成ファイル名を指定します。
マルチセル固有のファイル		マルチセルシステムの構成ファイルを指定します。ファイル名はチェーン ID です。 このフィールドは、210 マルチセルベースステーションにのみ表示されます。
自動再同期ポーリング	<p>値:</p> <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	<p>自動同期のための新しい構成ファイルを探す機能を制御します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 - 自動同期なし • 有効 - 自動同期を有効にしました。
再同期時間	<p>hh:mm</p> <p>デフォルト: 00:00</p> <p>最大: 23:59</p>	<p>ベースステーションが設定ファイルを再同期するのにかかる時間 (24時間制) を示します。 このフィールドは、自動再同期ポーリングが有効になっている場合に使用できます。</p>

フィールド	目次	説明
自動再同期の日数	最小：0 秒 最大：364	再同期操作の間の日数を示します。 このフィールドは、自動再同期ポーリングが有効になっている場合に使用できます。
自動再同期定期 (分)	最小：0 秒 最大：65535	再同期時間を分単位で示します。 このフィールドは、自動再同期ポーリングが有効になっている場合に使用できます。
自動再同期最大遅延	デフォルト：15 最小：0 秒 最大：1439	時間遅延を秒単位で示します。同時に新しい設定ファイルを要求しないように、各ベースステーションに異なる遅延時間を設定します。 このフィールドは、自動再同期ポーリングが有効になっている場合に使用できます。
DHCP 制御の構成サーバ		構成サーバを識別します。
DHCP オプションの優先順位	デフォルト： 66,160,159,150,60	DHCP オプションの優先順位を指定します。

表 19: Syslog / SIP ログセクションのフィールド

フィールド	目次	説明
SIP ログのアップロード	値 <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	低レベルの SIP デバッグメッセージをサーバに保存するかどうかを示します。SIP ログはファイル形式で保存されます。 <MAC_address><Time_stamp>SIP.log

フィールド	目次	説明
Syslog レベル	値 <ul style="list-style-type: none"> • オフ • 通常の動作 (デフォルト) • システム分析 • [デバッグ(Debug)] 	syslog サーバに保存されるシステムレベルのログメッセージのレベルを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • オフ - 保存されたメッセージはありません。 • 通常動作 - 通常のメッセージ：操作イベント、着信コール、発信コール、ハンドセット登録、DECT ロケーション、ビジー状態の重大なシステムエラーによるコールの損失、および一般的なシステム情報 • システム分析 - ハンドセットのローミング、ハンドセットファームウェアの更新ステータスのログを取得します。システム分析レベルには、通常の操作からのメッセージも含まれます。 • デバッグ - デバッグの問題をログに記録します。 (注) 通常の操作中はデバッグログを有効にしないでください。これらのログにより、システムが減速する可能性があります。
TLS セキュリティ	値 <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	TLS 1.2 のセキュリティを制御します。 <ul style="list-style-type: none"> • 無効：システムは TLS 1.2 を使用しません。 • 有効：システムは TLS 1.2 を使用します。
SyslogサーバのIPアドレス	IP アドレスまたは URL	Syslog サーバの IP アドレスを示します。
Syslog サーバとポート	0-xx デフォルト：514。	Syslog サーバのポートを示します。

表 20: 緊急番号セクションのフィールド

フィールド	目次	説明
数字のリスト		利用可能な緊急番号を示します。

プロミスカスモードセクションは、ファームウェアリリース 4.8 で新しく追加されています。

表 21: プロミスカスモードセクションフィールド

フィールド	目次	説明
有効 (分)	証明書番号	プロミスカスモードでのベースステーションの時刻を示します。
プロミスカスモードモードのタイムアウト	このフィールドは読み取り専用です。	ハンドセットの登録を解除するための残り時間を示します。

複数ページンググループパラメータセクションは、ファームウェアリリース 4.8 で新しく追加されています。

表 22: 複数のページンググループパラメータ

フィールド	目次	説明
グループ 1-3 ページングスクリプト	最大 128 文字のストリング	詳細については、 ページングの設定 を参照してください。

ファームウェアアップデート Web ページのフィールド

これらは、ベースステーションのファームウェアアップデートウェブページに表示されるフィールドです。



- (注) 最初にベースステーションをアップデートし、次にベースステーションのアップデートが完了した後にハンドセットをアップデートすることをお勧めします。

表 23: ファームウェアアップデート Web ページのフィールド

フィールド	目次	説明
ファームウェアアップデートサーバのアドレス	IP アドレスまたは URL	アップデートサーバの場所 (TFTP サーバアドレス) を示します。
ファームウェアパス	文字列	ファームウェア更新ファイルが格納されている更新サーバ上のパスを示します。 たとえば、このフィールドを シスコ に設定します。

フィールド	目次	説明
タイプ	ベースステーションを 更新する 6825 6823 RPT-110-3PC	ハードウェアを示します。 ベースステーションの更新: ベースステーションを更新するのに表示されます。 6825: 6825 ハンドセットが設定されているときに表示されます。 6823: 6823 ハンドセットが設定されているときに表示されます。 RPT-110-3PC: 110 リピーターが設定されているときに表示されます。
必要なバージョン	8 文字の文字列	更新するファームウェアのバージョンを示します。フィールドにゼロ (0) が含まれる場合、ファームウェアのアップグレードは無効になります。 このフィールドを更新すると、バージョン番号に先行ゼロは必要ありません。つまり、バージョンが「v0445」である場合、あなたはバージョンを 445 として入力できます。
必要なブランチ	8 文字の文字列	ファームウェアのブランチを示します。 このフィールドを更新すると、ブランチに先行ゼロは必要ありません。つまり、ブランチが「b003」である場合、あなたはバージョンを 3 と入力できます。

カントリーウェブページのフィールド

これらは、ベースステーションの**国/時間の設定**ウェブページに表示されるフィールドです。

表 24: 国/時間設定 **Web** ページのフィールド

フィールド	目次	説明
国を選択	国のリスト	ベースステーションが位置する国を識別します。
都道府県	選択された国に基づ く、州または地域のリス ト。	ベースステーションが位置する状態または領域を識別する。
注	テキスト	設定に関するメモを含みます。

フィールド	目次	説明
言語を選択	言語のリスト	ベースステーションの Web ページの言語を示します。
タイム サービス	テキスト	定義されているタイム サービスが表示されます。
Time Server	テキスト	ネットワークタイムサーバの DNS 名または IP アドレスを指定します。 (注) IPv4 アドレスのみがサポートされています
ブロードキャスト NTP を許可する	チェックボックス (Check box) デフォルト：チェック済み	すべてのデバイスでタイムサーバを使用するかどうかを指定します。
更新時間 (h)	整数 (1-24) デフォルト：24	ベースステーションがその時間 (時間単位) を時間サーバと同期させる頻度を識別します。
国/地域別にタイムゾーンを設定する	チェックボックス (Check box) デフォルト：チェック済み	ベースステーションが、この画面の国および州/地域フィールドのタイムゾーン設定を使用していることを示します。 このボックスをオンにすると、このテーブルの他のフィールドの一部を更新することはできません。
タイムゾーン	0 または hh : mm	GMT または UTC 形式のタイムゾーンを示します。 最小：-12 : 00 最大：+13 : 00
国/地域別に DST を設定する	チェックボックス (Check box) デフォルト：チェック済み	州または地域の夏時間 (DST) を使用できるかどうかを示します。

フィールド	目次	説明
夏時間(DST)	<p>値</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動 (デフォルト) • 無効 • 有効 	<p>DST の設定方法を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動 : 国に関連する設定を使用します。 • 有効 残りの DST フィールドを設定する必要があります。 • 無効 : DST は必要ありません。
日によって固定された DST	<p>値 :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 月と曜日を使用する • 月と日付を使用する 	<p>DST の管理方法を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 月と曜日を使用 : DST は特定の月と曜日に開始します。DST が毎年異なる日付で開始する場合は、これを使用します。 • 月と日付を使用する : DST は特定の月と日に開始されます。DST が毎月同じ日に開始される場合は、これを使用します。
DST 開始月	月のリスト	DST が開始する月を示します。
DST 開始日	整数 0-31	DST が開始する特定の曜日を示します。0 に設定すると、DST Start Day of Week エントリが使用されます。
DST 開始時間	整数 0-23	DST が開始される時間を示します。
DST 開始日	平日	DST が開始する曜日を示します。
月の DST 開始曜日	<p>値 :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 月の最初 • 月の最後 • 月の2 番目 • 月の最後から 2 番目 • 月の 3 番目 	<p>DST が開始する月の日を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最初の月 : DST は月の最初の DST 開始日 に開始します。 • 月末 : DST は月の最後の DST 開始日 に開始します。 • 月に 2 番目の : DST は月の2番目の DST 開始日 に開始します。 • 2 番目の月末 : DST は月の2 番目の DST 開始日 に開始します。 • 月に 3 番目 : DST 月のは 3 番目の DST 開始日 に開始します。
DST の停止月	月のリスト	DST が停止する月を示します。

フィールド	目次	説明
DST 停止日	整数 0-31	DST が開始する特定の曜日を示します。0 に設定すると、DST Stop Day of Week エントリが使用されます。
DST 停止時間	整数 0-23	DST が停止する時間を示します。
DST の停止日	平日	DST が停止する曜日を示します。
月の最後のDSTの停止日	値 : <ul style="list-style-type: none"> • 月の最初 • 月の最後 • 月の2 番目 • 月の最後から2 番目 • 月の3 番目 	DST が停止する月の日を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 月の初め : DST は月の最初の DST の停止日 で停止します。 • 月の最後 : DST は月の最後の DST の停止日 で停止します。 • 月の最初から2 番目 : DST は今月の2 回目の DST の停止日 に停止します。 • 2 番目の月末 : DST は2 番目に最後に停止します DST の停止日 今月の。 • 月の最初から3 番目 : DST は月の3 番目の DST の停止日 に停止します。

セキュリティ Web ページのフィールド

これらは、ベースステーションのセキュリティウェブページに表示されるフィールドです。

表 25: デバイス ID セクションのフィールド

フィールド	目次	説明
Idx		証明書のインデックスを示します。
発行先	文字列	証明書の認証局 (CA) の名前を示します。この名前は証明書ファイルの一部です。
発行元	文字列	証明書が作成される組織または会社を示します。この名前は証明書ファイルの一部です。
有効期限の終了 (Valid Until)	mm/dd hh:mm:ss yyyy	証明書の期限が切れる日を示します。この日付は証明書ファイルの一部です。
証明書とキーペアファイルのインポート : ファイル名	文字列	インポートされたファイルのファイル名を表示します。

表 26:信頼できるサーバ証明書セクションのフィールド

フィールド	目次	説明
Idx		証明書のインデックスを示します。
発行先	文字列	証明書の CA の名前を示します。この名前は証明書ファイルの一部です。
発行元	文字列	証明書が作成される組織または会社を示します。この名前は証明書ファイルの一部です。
有効期限の終了 (Valid Until)	mm/dd hh:mm:ss yyyy	証明書の期限が切れる日を示します。この日付は証明書ファイルの一部です。
信頼できる証明書をインポートする : ファイル名		インポートされたファイルのファイル名を表示します。

表 27:信頼できるルートサーバ証明書セクションのフィールド

フィールド	目次	説明
Idx		証明書のインデックスを示します。
発行先	文字列	証明書の CA の名前を示します。この名前は証明書ファイルの一部です。
発行元	文字列	証明書が作成される組織または会社を示します。この名前は証明書ファイルの一部です。
有効期限の終了 (Valid Until)	mm/dd hh:mm:ss yyyy	証明書の期限が切れる日を示します。この日付は証明書ファイルの一部です。
信頼できるルート証明書をインポートする : ファイル名		インポートするルート証明書の名前を示します。
信頼できる証明書のみ使用	値 : <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	<ul style="list-style-type: none"> • 無効: サーバからすべての証明書を受け入れます。 • 有効: サーバからの証明書を検証し、システムにロードします。一致する証明書が見つからない場合、TLS 接続は失敗します。

[Web パスワード制約] セクションは、ファームウェアリリース 4.8 で新しく追加されています。

表 28: Web パスワード制約セクションのフィールド

フィールド	目次	説明
最小長 : 1	デフォルト値: 4	パスワードの最小長。最小長は 1 文字で、最大長は 127 文字です。
ASCII 文字のみ	値 : <ul style="list-style-type: none"> • はい • 不可 	パスワードでの ASCII 文字の使用方法を定義します。 <ul style="list-style-type: none"> • はい: パスワードに大文字、小文字、および特殊文字を含めることができます。詳細については、サポートされる文字を参照してください。パスワードにスペース文字を含めることはできません • いいえ: パスワードには unicode 文字を含めることができます。

表 29: パスワードセクションのフィールド

フィールド	目次	説明
ユーザ名	最大 15 文字のストリング	管理ユーザ名 (admin) を示します。
現在のパスワード	最大 15 文字のストリング	現在のパスワードを入力して、パスワードの変更を承認します。
新しいパスワード	最大 15 文字のストリング	有効な文字は : <ul style="list-style-type: none"> • 0-9 • a-z, A-Z • @/ <>-_:.? * + #
[パスワードの確認 (Confirm Password)]	最大 15 文字のストリング	このフィールドと前のフィールドは一致する必要があります。

表 30: セキュアな Web サーバセクションのフィールド

フィールド	目次	説明
HTTPS	値 : <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	Web サーバのセキュリティの種類を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 無効 : HTTP または HTTPS を使用できます。 • 有効 : HTTPS のみを使用します。

中央ディレクトリ Web ページのフィールド

これらは、ベースステーションの中央ディレクトリウェブページに表示されるフィールドです。ロケーションフィールドは、表示される残りのフィールドを決定します。

表 31: 中央ディレクトリ Web ページのフィールド

フィールド	目次	説明
場所 (Location)	値 : <ul style="list-style-type: none"> • [ローカル] • [LDAP Server] • XML サーバー 	中央ディレクトリのタイプを識別します。 <ul style="list-style-type: none"> • ローカル - インポートされたコンマ区切り値 (CSV) ファイルが使用されることを示します。「ローカルローカルディレクトリ」を見ます。 • LDAP サーバ - LDAP ディレクトリが使用されていることを示します。以下の「LDAP ディレクトリ」を見ます。 • XML サーバ - XML ディレクトリが使用されていることを示します。(例: BroadSoft ディレクトリ) 以下の「XML ディレクトリ」を見ます。 (注) このフィールドを変更すると画面が更新され、ディレクトリの種類に基づいて異なるフィールドが表示されます。

ローカル ディレクトリ

表 32: ローカルディレクトリ フィールド

フィールド	目次	説明
サーバ	IP アドレスまたは URL	ディレクトリを含むサーバを識別します。
ファイル名		サーバ上のディレクトリファイルの名前を指定します。

フィールド	目次	説明
電話帳のリロード間隔	0-xx	<p>ベースステーションが電話帳の内容を数秒でリフレッシュする頻度を制御します。フィールドが 0 に設定されていると、リフレッシュは発生しません。</p> <p>ユーザには十分な頻度であるが、ベースステーションに過負荷がかかる頻度はあまり高くない時間を指定します。</p>

表 33: セントラルディレクトリセクションのフィールドをインポートします

フィールド	コンテンツ(Content)	説明
ファイル名	文字列	インポートされたセントラルディレクトリの名前を表示します。

LDAP ディレクトリ

表 34: LDAP セントラルディレクトリフィールド

フィールド	コンテンツ(Content)	説明
サーバ	IP アドレスまたは URL	ディレクトリファイルを含むサーバを識別します。
TLS セキュリティ	値 : <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	TLS 1.2 のセキュリティを識別します。 <ul style="list-style-type: none"> • 無効 : システムは LDAP サーバにアクセスするときに TLS 1.2 を使用しません。 • 有効 : システムは LDAP サーバにアクセスするときに TLS 1.2 を使用します。
Port (ポート)		LDAP 接続用に開いているサーバのポート番号を指定します。
Sbase		検索基準を指定します。 例 : CN = ユーザ、DC = 番号、DC = loc

フィールド	コンテンツ(Content)	説明
LDAP フィルタ		<p>検索フィルタを指定します。</p> <p>例：フィールドがに設定されている場合（ (givenName =□*) (sn =□*) ）システムは、LDAP サーバからのエントリーを要求するときにこのフィルターを使用します。%は、検索操作中にユーザが入力した内容で置き換えられます。したがって、ユーザが「J」検索条件の場合、サーバに送信される文字列は次のようになります。（ (givenName = J *) (sn = J *) ）サーバは、文字で始まる指定された名前または姓の一致を送信します「J」.</p>
バインド (Bind)		電話機がサーバに接続するときに使用されるユーザ名を識別します。
パスワード		LDAP サーバのパスワードが含まれます。
バーチャルリスト	値： <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 (デフォルト) 	<p>バーチャルリストの検索が可能かどうかを制御します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効：すべての検索結果が読み込まれます。 • 有効：一度に読み込まれる連絡先は25個だけです。

表 35: 端末 ID

フィールド	コンテンツ(Content)	説明
名前 (Name)	値： <ul style="list-style-type: none"> • cn • Sn + givenName 	指定された名前の一般名または姓が LDAP 検索結果で返されるかどうかを示します。
勤務先 (Work)	デフォルト: telephoneNumber	ハンドセットの作業番号にマップされる LDAP の作業番号の属性を示します。
ホーム	デフォルト: homePhone	ハンドセットのホーム番号にマップされる LDAP のホーム番号の属性を示します。
モバイル	デフォルト: mobile	ハンドセットの携帯電話番号にマップされる LDAP の携帯電話番号の属性を示します。

XML サーバー

表 36: XML センtralディレクトリフィールド

フィールド	コンテンツ(Content)	説明
サーバ	文字列	XML サーバを識別します。

表 37: XML 中央ディレクトリ : ディレクトリ名のフィールド

フィールド	コンテンツ(Content)	説明
エンタープライズ	文字列とチェックボックス	Enterprise 文字列を別のラベルに変更することを許可します。たとえば、このフィールドを「会社」に設定すると、ハンドセットには「企業 (Enterprise)」の代わりに「会社 (Company)」が表示されます。 チェックボックスをオンにすると、 中央ディレクトリ ページにディレクトリが表示されます。
EnterpriseCommon	文字列とチェックボックス	EnterpriseCommon 文字列を別のラベルに変更することを許可します。 チェックボックスをオンにすると、 中央ディレクトリ ページにディレクトリが表示されます。
グループ	文字列とチェックボックス	グループ文字列を別のラベルに変更できるようにします。たとえば、このフィールドを「部門」に設定すると、ハンドセットには「グループ (Group)」の代わりに「部門 (Department)」が表示されます。 チェックボックスをオンにすると、 中央ディレクトリ ページにディレクトリが表示されます。
GroupCommon	文字列とチェックボックス	GroupCommon 文字列を別のラベルに変更できるようにします。 チェックボックスをオンにすると、 中央ディレクトリ ページにディレクトリが表示されます。

フィールド	コンテンツ(Content)	説明
個人	文字列とチェックボックス	個人用文字列を別のラベルに変更できるようにします。たとえば、このフィールドを「ホーム (Home)」に設定すると、ハンドセットには「個人 (Personal)」の代わりに「ホーム (Home)」が表示されます。 チェックボックスをオンにすると、 中央ディレクトリ ページにディレクトリが表示されます。

マルチセル Web ページのフィールド

これらは、ベースステーションのマルチセルウェブページに表示されるフィールドです。

このページは、210 マルチセルベースステーションにのみ表示されます。

表 38: 複数セルステータスセクションのフィールド

フィールド	説明
システム情報 (System Information)	マルチセル構成におけるベースステーションの現在の状態を示す。
IP から受信した最後のパケット	ベースステーションへの最後のコミュニケータの IP アドレスを示します。

表 39: このユニットセクションのフィールドの設定

フィールド	目次	説明
マルチセルシステム	値 : <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	ベースステーションがマルチセル構成の一部であるかどうかを示します。 このフィールドを変更する場合は、 保存して再起動 します。
システムチェーン ID	512 (デフォルト) 最大 5 桁	マルチセルチェーンを識別します。チェーン内の各ベースステーションは同じ ID を使用します。 (注) 内線番号に似たチェーン ID は使用しないことをお勧めします。

フィールド	目次	説明
同期の所要時間 (s)	値 : <ul style="list-style-type: none"> • 30 • 60 (デフォルト) • 90 • 120 • 150 • 180 • 240 • 270 • 300 	チェーン内のベースステーションによる同期要求の間隔を秒単位で示します。
データ同期	値 : <ul style="list-style-type: none"> • マルチキャスト (デフォルト) • ピアツーピア 	データ同期のタイプを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • マルチキャスト - コール制御システムでマルチキャスト/IGMP を有効にする必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 使用されるマルチキャストポートの範囲と IP アドレスは、チェーン ID から計算されます。 • マルチキャスト機能は、ポート範囲 : 49200~49999 を使用します • マルチキャスト機能の IP 範囲 : 224.1.0.0~225.1.0.0 • マルチキャスト UDP • ピアツーピア: ネットワークでマルチキャストが許可されていない場合にこのモードを使用します。LAN 同期の Web ページフィールド (49 ページ) を参照してください。

フィールド	目次	説明
プライマリデータ同期 IP	IP アドレス	<p>ベースステーションのデータ同期 IP アドレスを示します。</p> <p>マルチキャストを使用すると、このベース IP が自動的に選択されます。</p> <p>データ同期機能は、ポート範囲 49200～49999 を使用します</p> <p>(注) ピアツーピアモードを使用して、データ同期ソースに使用されるベースの IP を定義しなければなりません。</p> <p>(注) V306 より下のバージョンでピアツーピアモードを使用すると、システムの自動復旧機能が制限されます。ピアツーピアモードでは、データ同期ソースの自動回復はありません。</p>
マルチセルデバッグ	<p>値：</p> <ul style="list-style-type: none"> • なし (デフォルト) • データ同期 • 自動ツリー • 両方 	<p>マルチセルデバッグ情報のレベルがログに保存されていることを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • None (デフォルト)—No d • データ同期 - 特別な問題をデバッグするために送受信されたすべてのパケットのヘッダー情報を書き込みます。 <p>(注) この設定では多くのログが生成されるため、デバッグ時に短時間使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動ツリー - 自動ツリー構成機能に関連する状態とデータを書き込みます。 • 両方ともデータ同期と自動ツリーが有効になっています。 <p>(注) この設定では多くのログが生成されるため、デバッグ時に短時間使用してください。</p>

マルチセル システム フィールドを **有効** に設定し、ベースステーションを再起動すると、メッセージがページに表示されます。

表 40: DECTシステム設定

フィールド	目次	説明
RFPI システム		すべてのベースステーションがマルチセルシステムに使用する無線 ID を表示します。
自動構成 DECT 同期ソースツリー	値 <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 (デフォルト) 	マルチセルシステムの同期機能を制御します。 <ul style="list-style-type: none"> • 無効: オリジナルの場合。プライマリベースステーションに到達できない場合、システムは同期するプライマリなしで継続します。 • 有効: 元のプライマリベースステーションに到達できない場合、別のベースステーションがプライマリベースステーションとして引き継ぎます。
複数プライマリを許可する	値: <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	複数の場所にシステムをセットアップできます。
複数のプライマリを自動作成する	値: <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	

表 41: ベースステーションの設定

フィールド	目次	説明
分散ロード前の SIP アカウントの数		
アカウントごとに複数の登録をサポートする SIP Server	値 <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	
システムの組み合わせ (ベースステーション/リピータ/基地局の数)		

表 42: ベースステーショングループ

フィールド	目次	説明
ID		読み取り専用インデックス番号
RPN		ベースステーションの無線固定部品番号 (RPN) を示します。各ベースステーション RPN は固有である。
バージョン		ファームウェアのバージョンを示します。
MAC アドレス		ベースステーションの MAC アドレスが含まれます。
IP アドレス		ベースステーションの IP アドレスが含まれます。
[IP ステータス (IP Status)]	値 : <ul style="list-style-type: none"> • 接続中 • 接続の損失 • このユニット 	ベースステーションの状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 接続済 : ベースステーションがオンラインです。 • 接続損失 : ベースステーションがネットワーク上にない • このユニット : 情報を表示しているベースステーション。
DECT 同期ソース		マルチセルチェーンに関する情報が含まれています。

フィールド	目次	説明
DECT プロパティ	値 <ul style="list-style-type: none"> • プライマリ • ロック済み • 検索 • フリーランニング • 不明 (Unknown) • アシストロック • 同期失注 	ベースステーションのステータスを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • プライマリ：ベースステーションはプライマリベースステーションであり、他のすべてのベースステーションはこのベースステーションと同期する。 • ロックされている：ベースステーションはプライマリベースステーションと同期しています。 • 検索中：ベースステーションが主ベースステーションと同期しようとしています。 • フリーランニング：ベースステーションがプライマリベースステーションとの同期を失った。 • 不明：接続情報がありません。 • アシストロック：ベースステーションは DECT を使用してプライマリベースステーションと同期できず、イーサネットを使用して同期しています。 • 同期消失：ベースステーションが同期を失ったが、関連するハンドセットにアクティブなコールがあることを示します。コールが完了すると、ベースは同期を試みますが、
ベースステーション名		管理ページで指定されたベースステーション名を示します。

DECT チェーンセクションには、ベースステーションの階層がグラフィック形式で表示されません。

LAN 同期の Web ページフィールド

これらは、ベースステーションの LAN Sync ウェブページに表示されるフィールドです。

表 43: IEEE1588 LAN 同期の設定

フィールド	目次	説明
IEEE1588	値 : ・ [無効(Disabled)] (デフォルト) ・ 有効	有効: LAN 同期の使用を示します。LAN 同期のネットワーク要件を次に示します。 <ul style="list-style-type: none"> • Sync Master ベースステーションと同期スレーブベースステーションは、最大 3 台のカスケードイーサネットスイッチをサポートしています。 • IEEE1588 イーサネット同期要件を満たすスイッチのみを推奨し、サポートしています。 • すべてのベースステーションは、専用の DECT VLAN に接続する必要があります。 • DECT インフラストラクチャに接続するすべてのスイッチの DECT VLAN は、最高の優先順位を持つように設定する必要があります。 • バックボーンネットワークの負荷は、リンクキャパシティの合計の 50 パーセントを超えることはできません。 • イーサネットスイッチは、DSCP を QoS パラメータとして使用する必要があります。 • ネットワークは、IEEE1588 からマルチキャストデータグラムをサポートしている必要があります。

スターコード Web ページのフィールド

これらは、ベースステーションのスターコードウェブページに表示されるフィールドです。

表 44: スターコード Web ページのフィールド

フィールド	Code	説明
コールの戻り	デフォルト: 69	このスターコードをダイヤルして電話をかける。
ブラインド転送	デフォルト : 88	このスターコードをダイヤルして、相談せずに電話を転送します。

フィールド	Code	説明
コール転送はすべて有効	デフォルト : 72	すべての通話を転送するには、このスターコードをダイヤルします。
すべて転送を無効にする	デフォルト : 73	このスターコードをダイヤルして、電話をかけることをやめる。
コールウェイトのアクティブ化	デフォルト : 56	このスターコードをダイヤルして、コールウェイトニングトーンを有効にします。
通話待機を無効にする	デフォルト : 57	このスターコードをダイヤルして、コールウェイトニングトーンを無効にします。
発信コールの発信者IDをブロックする	デフォルト : 67	発信コードで発信者IDを送信しないようにするには、このスターコードをダイヤルします。
発信通話の発信者番号をブロックする	デフォルト : 68	このスターコードをダイヤルして、発信通話で発信者IDを送信します。
匿名着信をブロックする	デフォルト : 77	このスターコードをダイヤルすると、発信者番号のない通話をブロックできます。
匿名着信コールをブロックする	デフォルト : 87	このスターコードをすべての電話機にダイヤルして、発信者番号のない通話を受信します。
応答不可を有効にする	デフォルト : 78	このスターコードをダイヤルすると、電話で呼び出し音が鳴らなくなります。
応答不可を非アクティブ化する	デフォルト : 79	このスターコードをダイヤルして、電話で呼び出し音が鳴るようにします。

コールプログレストーン Web ページのフィールド

これらは、ベースステーションのコールプログレストーンウェブページに表示されるフィールドです。

標準通話のコールプログレストーンは地域によって異なります。システムの国を設定すると、このページには国のデフォルトの音色が表示されます。

表 45: コールプログレストーンセクションのフィールド

フィールド	説明
[ダイヤルトーン (Dial Tone)]	ユーザに電話番号を入力するように促します。

フィールド	説明
[外部ダイヤルトーン (Outside Dial Tone)]	ダイヤルトーンの代わり。内線番号とは対照的に、ユーザに外部の電話番号を入力するように促します。これは、ダイヤルプランで検出される、(カンマ) 文字によってトリガーされます。
[プロンプトトーン (Prompt Tone)]	ユーザにコール転送電話番号を入力するように促します。
[ビジートーン (Busy Tone)]	発信コールで 486 RSC が受信されると再生されます。
[リオーダー音 (Reorder Tone)]	発信コールが失敗した場合、または相手先が確立されたコール中に電話を切った後に再生されます。リオーダー音は、<ダイヤルトーン> またはその代わりとなるものがタイムアウトすると自動的に再生されます。
[オフフック警告トーン (Off Hook Warning Tone)]	受話器が一定時間外されていると再生されます。
[リングバックトーン (Ring Back Tone)]	相手先を呼び出しているときの発信コール中に再生されます。
[コールウェイティングトーン (Call Waiting Tone)]	コールの待機時に再生されます。
[トーンの確認 (Confirm Tone)]	最後の入力値が受け入れられたことをユーザに通知する短いトーン。
[保留音 (Holding Tone)]	相手先がコールを保留にしたことをローカル発信者に通知します。
[会議トーン (Conference Tone)]	3 者間の電話会議が進行中の場合に、すべての当事者向けに再生されます。
[ページトーン (Page Tone)]	このフィールドは、ファームウェアリリース 4.8 で新規に追加されています。 ベースステーションがページを受信したときにすべてのハンドセットに再生されます。

ダイヤルプラン Web ページのフィールド

これらは、ベースステーションのダイヤルプランウェブページに表示されるフィールドです。

表 46:ダイヤルプランのフィールド

フィールド	説明
Idx	ダイヤルプランのインデックス番号を示します (ターミナル Web ページのフィールド (11 ページ) ページで使用されています)。
ダイヤルプラン (Dial Plan)	ダイヤルプランの定義が含まれています。

リピーター Web ページのフィールド

これらは、ベースステーションのリピーターウェブページに表示されるフィールドです。

表 47:リピーター Web ページのフィールド

フィールド	目次	説明
Idx	このフィールドは読み取り専用です。	リピーターのインデックスを識別します。
RPN	このフィールドは読み取り専用です。	リピーター番号を指定します。
名前/IPEI	このフィールドは読み取り専用です。	リピーターの設定された名前と IPEI を示します。
DECT 同期ソース	このフィールドは読み取り専用です。	リピーターが通信するベースステーションを示します。
DECT 同期モード	このフィールドは読み取り専用です。	ベースステーションとの同期のタイプを示します。
状態 (State)	このフィールドは読み取り専用です。	リピーターの状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 無効: リピーターがベースと通信するように設定されていません。 • 有効: リピーターがベースと通信するように設定されています。
FW 情報	このフィールドは読み取り専用です。	リピーターのファームウェアのバージョンを示します。

フィールド	目次	説明
FWU 進捗状況	このフィールドは読み取り専用です。	<p>ファームウェアアップデート (FWU) 状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ - sw バージョンフィールドが 0 に設定されていることを示します。 ファームウェアアップデートページ。 • 初期化 - 更新プロセスが開始されていることを示します。 • X% - 更新の進捗状況を示します。Xは進捗量 (0~100) です。 • X%の確認 - 使用前にファームウェアの検証が進行中であることを示します。 • Conn.term.wait - リピーターファームウェアのアップデートが完了し、リピータのリセットが進行中であることを示します。 • 完了 - ファームウェアのアップデートが完了したことを示します。 • エラー - 更新が成功しなかったことを示します。考えられる原因は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • ファイルが見つかりません • ファイルが無効です。

リピーター Web ページのフィールドの追加または編集

これらは、ベースステーションのリピーター Web ページに表示されるフィールドです。このページは、リピータの設定を追加または変更した場合に表示されます。

表 48: リピーター Web ページのフィールド

フィールド	目次	説明
名前 (Name)	文字列	リピーター名を指定します。場所に名前を設定することができます。

フィールド	目次	説明
DECT 同期モード	選択 : <ul style="list-style-type: none"> • 手動 • 自動 	リピーターの登録タイプを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 手動: パラメータを手動で割り当てる必要があります。 • 自動: リピーターが基本信号を検出して、自動的に設定されます。
RPN	選択 : <ul style="list-style-type: none"> • エラー • RPNxx 	リピーターの RPN を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • エラー: リピーターは、最初に利用可能なベースステーションスロットを選択します。 • RPNxx: リピーターは、設定されているベースステーションスロットを選択します。
DECT 同期ソース	利用可能な RPN のリスト	ベースステーションで使用可能な RPN を識別します。

アラーム Web ページのフィールド

これらは、ベースステーションの警報ウェブページに表示されるフィールドです。

表 49: アラーム Web ページのフィールド

フィールド	目次	説明
Idx	桁	アラームのインデックス番号を示します。
プロファイルエイリアス	文字列	アラームの名前を識別します。
アラームタイプ	値 : <ul style="list-style-type: none"> • アラーム ボタン • [無効(Disabled)] (デフォルト) 	緊急ボタンからのアラームの種類を識別します。

フィールド	目次	説明
アラーム信号	値： <ul style="list-style-type: none"> • メッセージ • 通話 • ビーコンメッセージ 	ハンドセットがアラーム（緊急）ボタンをアクティブにするときのアラーム信号の表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • メッセージ-テキストメッセージがアラームサーバに送信されます。 • コール-発信コールが指定された緊急番号に送信されます。
ハンドセットからのアラームを停止する	値： <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効（デフォルト） 	ハンドセットがアラームをキャンセルできるかどうかを示します。
トリガー遅延	0～255 桁	受話器がプリアラーム警告を表示するまでの遅延を秒単位で示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 0- プリアラーム警告なし。すぐにアラームが送信されます。 • その他- プリアラーム警告が表示される時間。秒数が経過すると、アラームが送信されます。アラームが設定された場所に送信されるまで数秒かかることがあります。
ハンドセットからプレアラームを停止する	値： <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効（デフォルト） 	ユーザがアラームを停止できるかどうかを示します。
プリアラームディレイ	0～255 桁	プリアラームが表示される時刻とアラームが通知される時刻との間の遅延を示します。
ハウリング	値： <ul style="list-style-type: none"> • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効 	ハンドセットがハウリング信号を開始するかどうかを示します。無効にすると、通話またはメッセージ信号のみが送信されます。

[Streaming Statistics (ストリームの統計)] Web ページのフィールド

が統計ウェブページには多数の統計ビューがあります：

- システム
- 呼び出し
- リピータ (使用されていない)

各ページには、システムの使用方法を理解するのに役立つ情報があり、早期に問題を特定するのに役立ちます。

システム Web ページのフィールド

これらは、ベースステーションの統計ウェブページのシステムリンクに表示されるフィールドです。

表 50: 統計：システム Web ページのフィールド

フィールド	説明
ベースステーション名	ベース IP アドレスと名前が含まれます。表の最後の行には、表内のすべての行の合計が含まれています。システム内にベースステーションが 1 つしかない場合は、要約 (合計) 行だけが表示されます。
操作/期間 D-H : M : S	直前の再起動後の時刻と、統計の最終リセットまたは最後のファームウェアのアップグレード以降の累積アップ時間を表示します。
DECT 操作 D-H : M : S	DECT プロトコルがアクティブであった時間を示します。
ビジー	ベースがビジーであった回数 (アクティブなコールをさらに処理できない回数) が含まれます。
ビジー時間 D-H : M : S	ベースがビジー状態だった累積時間を表示します。
SIP 失敗	SIP 登録が失敗した回数を表示します。
削除された端末	ハンドセットが削除済みとしてマークされた回数を表示します。
検索	ベースが同期ソースを検索していた回数を表示します。 このフィールドは、210 マルチセルベースステーションにのみ表示されます。

フィールド	説明
フリーランニング	<p>ベースが同期ソースからのデータを同期していない回数を表示します。</p> <p>この状態が頻繁にトリガーされる場合は、ベースステーションの設定を変更する必要があります。詳細については、ベースステーションの状態を参照してください。</p> <p>このフィールドは、210 マルチセルベースステーションにのみ表示されます。</p>
ソースが変更されました	<p>ベースが同期ソースを変更した回数を表示します。</p> <p>このフィールドは、210 マルチセルベースステーションにのみ表示されます。</p>

ウェブページのフィールドを呼び出す

これらは、ベースステーションの統計ウェブページのコールリンクに表示されるフィールドです。

表 51: ウェブページのフィールドを呼び出す

フィールド	説明
ベースステーション名	<p>ベース IP アドレスと名前が含まれます。表の最後の行には、表内のすべての行の合計が含まれています。システム内にベースステーションが 1 つしかない場合は、要約 (合計) 行だけが表示されます。</p>
操作/期間 D-H : M : S	<p>直前の再起動後の時刻と、統計の最終リセットまたは最後のファームウェアのアップグレード以降の累積アップ時間を表示します。</p>
Count	<p>基地局で処理されたコール数が表示されます。</p>
Dropped	<p>ドロップされたアクティブコールの数を表示します。ドロップされた各コールは、syslog エントリになります。</p> <p>ドロップされた呼の例は、ユーザがアクティブな呼出をしてからベースステーションの圏外を歩くときである。</p>
応答なし	<p>ハードウェアの問題のために着信コールに応答しなかったコールの数を表示します。各コールは、syslog エントリになります。</p> <p>非応答呼の例は、外部ユーザがベースステーションの範囲内にはないハンドセットを呼び出すを試みる場合である。</p>

フィールド	説明
緊急コール	緊急コールの合計数を表示します。 このフィールドは、ファームウェアリリース 4.7 で新規に追加されています。
緊急コールが原因でコールが削除される	緊急コールによって削除されたコールの数を表示します。 このフィールドは、ファームウェアリリース 4.7 で新規に追加されています。
緊急コールが拒否されました	拒否された緊急コールの数を表示します。 このフィールドは、ファームウェアリリース 4.7 で新規に追加されています。
期間 D-H : M : S	コールがベースでアクティブだった合計時間を表示します。
アクティブ	現在ベースでアクティブなハンドセットの数を表示します。
最大アクティブ	同時にアクティブになったコールの最大数を表示します。
コーデック G711U:G711A:G729:G722:G726:OPUS	各コーデックがコールに使用された回数を表示します。
ハンドオーバー試行の成功	成功したハンドオーバーの回数を表示します。 このフィールドは、210 マルチセルベースステーションにのみ表示されます。
ハンドオーバー試行が中止されました	失敗したハンドオーバーの回数を表示します。 このフィールドは、210 マルチセルベースステーションにのみ表示されます。
オーディオが検出されない	オーディオ接続が確立されなかった回数を表示します。

リピーター Web ページのフィールド

これらは、ベースステーションの統計ウェブページのリピーターリンクに表示されるフィールドです。

表 52: リピーター Web ページのフィールド

フィールド	説明
インデックス/名前	リピーターのインデックスと名前が含まれています。表の最後の行には、表内のすべての行の合計が含まれています。システム内にリピーターが1つしかない場合は、要約（合計）行だけが表示されます。
操作 D-H : M : S	直前の再起動後の時刻と、統計の最終リセットまたは最後のファームウェアのアップグレード以降の時間を表示します。
ビジー	リピーターがビジー状態であった回数が表示されます。
ビジー時間 D-H : M : S	リピーターがビジー状態であった時間が表示されます。
最大アクティブ	同時にアクティブになったコールの最大数を表示します。
検索	リピーターが同期ソースを検索していた回数を表示します。
リカバリ	リピーターが同期ソースに接続して、別のベースまたはリピーターに同期できなかった回数を表示します。
ソースが変更されました	リピーターが同期ソースを変更した回数を表示します。
広帯域	狭い帯域コールの数を表示します。
狭い帯域	狭い帯域コールの数を表示します。

[Generic Statistics (ジェネリックの統計)] Web ページのフィールド

これらは、ベースステーションの全般統計ウェブページに表示されるフィールドです。

各行には、過去 24 時間のデータの値とグラフが示されます。

表 53: [DECT 統計 (DECT Statistics)] のフィールド

フィールド	説明
DLC インスタンスの合計数	インスタンス化されたデータリンク制御 (DLC) インスタンスの寿命。
最大同時 DLC インスタンス	インスタンス化された DLC インスタンスの最大同時実行数。
現在の DLC インスタンス数	インスタンス化された DLC インスタンスの現在の実行数。
使用中の最大 DLC インスタンス内の合計回数	現在最大数の DLC インスタンスに到達する実行数。

フィールド	説明
使用中の最大 DLC インスタンスに費やされた合計時間 (H:M:S)	インスタンス生成された DLC インスタンスのうち、最大同時実行数にかかる時間。
この時間あたりの平均使用頻度 x 使用量 (スロットあたり最大 100) (x は 0~9 です)	周波数番号 x の使用量の平均値。測定された時間フレームのスロットによって周波数が完全に使用されている場合、値は 100 です。
この時間の平均偶数スロット使用量 (スロットあたり最大 100)	偶数番号のスロットの平均使用量。
この時間の平均奇数スロット使用量 (スロットあたり最大 100)	奇数番号のスロットの平均使用量。
この時間に使用された x スロットの割合時間 (x は 0~12 です)	現在の時間の DECT スロットの x 番号の使用時の割合。 特定の時間の間に X の DECT スロットが使用された割合 (他のスロット数と比較した場合)。
コーデックの合計使用量 (G.711A、G.711U、G.726、G.729)	これは、使用されているコーデックを示しています。いずれかのコーデックを使用して RTP ストリームをインスタンス化する回数。 このフィールドは、ファームウェアリリース 4.7 では使用できません。
総 CHO 成功	接続の引き渡しが成功した回数。
強制 PP 移動の合計数	このベースフォースが PP 移動を強制する合計実行数。

DECT 同期統計は、210 マルチセルベースステーションでのみ表示されます。

表 54: DECT 同期統計フィールド

フィールド	説明
現在の同期状態	現在の DECT 同期の状態。たとえば、マスター、検索、フリーランニングなどです。
現在の同期チェーン	このベースの現在の DECT 同期ソース Fp ID。
最後に変更された同期チェーンのタイムスタンプ	このベースの DECT 同期ソースが最後に変更された時刻のタイムスタンプ。

フィールド	説明
同期チェーン変更の回数	このベースの現在の時間の DECT 同期ソースが変更された回数。
同期チェーン変更の総数	この基本変更された DECT 同期ソースの時間の合計数。
同期状態の合計時間：マスター (H:M:S)	ベースステーションの同期状態がマスターのときの現在の時間。
同期状態の合計時間：ロック (H:M:S)	ベースステーションの同期状態がロックされたときの現在の時間。
同期状態の合計時間：フリーランニング	ベースステーションの同期状態がエイリアンフリーランニングであった現在の時間。
同期状態の合計時間：ロックアシスト	ベースステーションの同期ステータスがロックによって制限された場合の、現在の時間。
同期状態の合計時間：同期ロスト (H:M:S)	ベースステーションの同期状態が失われたときの現在の時間。
同期状態の合計時間：検索中 (H:M:S)	ベースステーションがソースを検索しているときの現在の時間。
同期状態の合計時間：不明 (H:M:S)	ベースステーションの同期状態が不明ではなかったときの現在の時間。
このベースステーションに最後に報告された同期情報	システムがベースステーションの同期情報を最後に受信した時刻。

表 55: RTP 統計フィールド

フィールド	説明
合計 RTP 接続数 (接続タイプ情報 (外部、リレー、記録など) を含む)	インスタンス化された RTP ストリームの経過時間合計数。
最大同時 RTP 接続数 (接続タイプ情報 (外部、リレー、記録など) を含む)	インスタンス化された RTP ストリームの最大同時実行数。
使用中の最大 RTP 接続に費やされた合計時間 (H:M:S)	インスタンス化された RTP ストリームの中で、最大同時回数を消費した時間。
現在の RTP 接続数 (接続タイプ情報 (外部、リレー、記録など) を含む)	インスタンス化された RTP ストリームの現在の実行数。

表 56: IP-スタック統計フィールド

フィールド	説明
オープンな総接続数	使用されているソケットの総使用回数。
オープンな最大同時接続数	使用されているソケットの最大同時実行数。
現在のオープンな接続数	使用されているソケットの現在の数。
tx メッセージの総数	送信された IP パケットの総有効時間。
rx メッセージの総数	受信した IP パケットの合計時間。
tx エラーの合計数	IP パケット転送中に発生したエラーの総時間数。

表 57: システム統計フィールド

フィールド	説明
稼働時間 (H:M:S)	ベースが連続して実行されている時間。
現在の CPU 負荷	CPU の現在の読み込みの割合。この情報は 5 秒ごとに自動的に更新されます。
現在のヒープ使用量	現在使用されているヒープのバイト数。
最大ヒープ使用量 (%)	ヒープのピーク使用率。
メールキュー ROS_SYSLOG	Syslogs の内部メールキューのサイズ。
メールキュー ROS_x (x は 0~5 です)	内部メールキューのサイズ。

診断 Web ページのフィールド

診断 Web ページには次のビューがあります。

- ベースステーション
- [内線 (Extensions)]
- ログイン

各ページには、システムの使用方法を理解するのに役立つ情報があり、早期に問題を特定するのに役立ちます。

ベースステーション

これらは、ベースステーションの診断ウェブページのベースステーションリンクに表示されるフィールドです。

表 58: ベースステーション Web ページのフィールド

フィールド	説明
ベースステーション名	管理設定からのベースステーションの IP アドレスと名前を示します。表の最後の行には、表内のすべての行の合計が含まれています。システム内にベースステーションが 1 つしかない場合は、要約（合計）行だけが表示されます。
アクティブ DECT Ext (Mm / Ciss / CcOut / CcIn)	ベースステーション内の内線へのアクティブな接続の数を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • Mm-Mobility Management • Ciss-Call 独立補助サービス • CcOut - コールコントロールアウト • CcIn - コール制御
アクティブ DECT 担当者 (Mm / Ciss / CcOut / CcIn)	ベースステーションのリピーターへの接続数を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • Mm-Mobility Management • Ciss-Call 独立補助サービス • CcOut - コールコントロールアウト • CcIn - コール制御
アクティブな RTP (Lcl / Rx BC)	使用中のアクティブな RTP ストリームの数を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • Lcl ローカル RTP ストリーム • RxBC ブロードキャスト受信 RTP ストリーム
アクティブリレー RTP (Lcl / リモート)	アクティブなリレーストリームの数を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • Lcl-ローカル RTP 中継ストリーム • リモート削除 RTP リレーストリーム
遅延 (ms) (Avg.Min/Average/Avg.Max)	ベースステーション間の ping の待ち時間を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • Avg.Min - 平均最小最小遅延 • 平均 - 平均遅延 • Avg.Max - 平均最大遅延

[内線 (Extensions)]

これらのフィールドは、診断ウェブページに表示されるフィールドです。

表 59:内線番号 Web ページのフィールド

フィールド	説明
Idx	拡張インデックス番号を示します。
HS 再起動の回数	ハンドセットが再起動した回数を示します。
最後の HS 再始動 (dd / mm / yyyy hh : mm : ss)	最後にハンドセットを再起動した日時を示します。

ロギング

これらのフィールドは、診断ウェブページのロギングフィールドに表示されるフィールドです。

表 60: Web ページのフィールドのログ

フィールド	説明
RSX 内部トレース	内部トレースが無効か有効かを示します。
PCAP の内部トレース	
このベース(オーディオを除く) との間でパケットをトレース する	
このベースへのオーディオパ ケットのトレース	
受信ブロードキャストパケッ トのトレース	
受信 IPv4 マルチキャストパ ケットのトレース	
宛先MACで受信パケットをト レースする(各バイト間の比較)	6 ペア
受信した Ethertype のトレース	3 フィールド
受信 IPv4 プロトコルのトレ ース	3 フィールド
受信した TCP/UDP ポートのト レース	3 フィールド

フィールド	説明
トレースのダウンロード:	すべての基地局または現在の基地局ボタンをクリックします。

構成 Web ページのフィールド

ベースステーションの構成ウェブページは、ベースステーション構成ファイルの読み取り専用バージョンを表示します。このファイルは、TFTP サーバ上の /Config フォルダに保存されています。各ベースステーションには、MAC アドレスに基づいた固有の構成ファイルがあります。

次の方法でファイルを変更できます。

- [推奨する方法] ベースステーションの Web ページの設定を変更し、バックアップ用にファイルをエクスポートします。
- ファイルをエクスポートし、変更して、ファイルをアップロードします。



(注) 手動で変更する場合は、すべての書式を保持する必要があります。そうしないと、電話機が正しく設定されないことがあります。

Syslog Web ページのフィールド

Syslog ウェブページは現在のベースステーションのシステムレベルのメッセージのライブフィードを表示します。Syslog レベルフィールド管理 Web ページはログに記録されたメッセージを制御します。



(注) ベースステーションがリブートすると、新しい syslog が開始され、以前の情報は失われます。問題が発生して再起動する予定がある場合は、再起動する前に syslog ファイルをコンピュータに保存してください。

もし Syslog レベルフィールドがデバッグログ用に設定されている場合は、追加情報が syslog に書き込まれます。システムの輻輳を最小限に抑えるために、短い時間だけデバッグログを取得する必要があります。



(注) 次のようなメッセージが頻繁に表示されます。

udp に送信 : xxx.xxx.xxx.xxx : xxxx at mm / dd / yyyy hh : mm : ss (4 バイト)
xxx.xxx.xxx.xxx : xxxx は IP アドレスとポート、mm / dd / yyyy は日付、hh : mm : ss は時刻です。

これらはキープアライブメッセージであり、無視することができます。

SIP ログ Web ページのフィールド

SIP ログ Web ページには、システムの SIP サーバメッセージのライブフィードが表示されます（シングルまたはマルチセル）。情報は、TFTP サーバ上のファイルとしても保存されます。ログは 17 KB の 2 ブロックに保存され、1 ブロックがいっぱいになるともう 1 ブロックが使用されます（以前の内容は上書きされます）。

ファイル名：<MAC_address><time_stamp>SIP.log

以前のファームウェアリリース用 Web ページ

ファームウェアリリース V450 および V460 の拡張機能 Web ページのフィールド

これらは、ベースステーションの内線 Web ページに表示されるフィールドです。

ページは、[管理者とユーザビュー]に表示されます。一部のフィールドはユーザビューでは使用できません。

このセクションは、ファームウェアリリース V450 および V460 に適しています。ファームウェアリリース 4.7 は、[内線番号 Web ページのフィールド \(3 ページ\)](#) を参照してください。

表 61: [General] セクション

フィールド	目次	説明
AC	4 桁の数値コード	ベースステーションのアクセスコード (AC) を識別します。

表 62: 内線番号セクション

フィールド	目次	説明
Idx	このフィールドは読み取り専用です。	ハンドセットのインデックスを識別します。
IPEI		ハンドセットの固有の DECT 識別番号である International Portable Equipment Identity (IPEI) を示します。 このフィールドは、 ターミナルページのハンドセット についての詳細情報へのリンクです。 2 回線割り当てられている場合、ハンドセットはリストに 2 回表示されます。

フィールド	目次	説明
端末状態	このフィールドは読み取り専用です。	<p>受話器の現在の状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 現在の@RPNxx-ハンドセットはベースステーションRPNxxに接続されています。ここで、xx は基地局の番号です。 • デタッチ-ハンドセットが接続されていない（電源が切れているなど）。 • 在圏-ハンドセットの電源は入っていますが、ベースステーションには接続できません。 • 削除された@ RPNxxx-ハンドセットが特定の時間（通常は 1 時間）ベースステーションに接続されていません。
ターミナルタイプ、FW 情報	このフィールドは読み取り専用です。	ハンドセットのモデル番号とファームウェアのバージョンを識別します。

フィールド	目次	説明
FWU 進捗状況	このフィールドは読み取り専用です。	<p>ファームウェアアップデート (FWU) 状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ - sw バージョンフィールドが 0 に設定されていることを示します。 ファームウェアアップデートページ。 • 初期化 - 更新プロセスが開始されていることを示します。 • X% - 更新の進捗状況を示します。X は進捗量 (0~100) です。 • X%の確認 - 使用前にファームウェアの検証が進行中であることを示します。 • Waiting for charger - 新しいファームウェアをインストールするために、ファームウェアのアップデートが完了し、ハンドセットを充電器に入れる必要があることを示します。 • Conn.term.wait - リピーターファームウェアのアップデートが完了し、リピータのリセットが進行中であることを示します。 • 完了 - ファームウェアのアップデートが完了したことを示します。 • エラー - 更新が成功しなかったことを示します。考えられる原因は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • ファイルが見つかりません。 • ファイルが無効です。
VoIP Idx	このフィールドは読み取り専用です。	設定された SIP 拡張のインデックスを識別します。
[内線番号 (Extension)]		<p>ハンドセットに割り当てられている内線番号を識別します。</p> <p>管理者ビューのみ: このフィールドは、拡張機能ページのハンドセットの詳細情報へのリンクです。</p>

フィールド	目次	説明
表示名	このフィールドは読み取り専用です。	ハンドセットに割り当てられた名前を識別します。
サーバ	このフィールドは読み取り専用です。	サーバの IP アドレスまたは URL を識別します。
サーバエイリアス	このフィールドは読み取り専用です。	構成されている場合、サーバ別名を識別します。
状態 (State)	このフィールドは読み取り専用です。	SIP 登録状態と、ハンドセットが登録されているベースステーションを識別します。フィールドが空の場合、ハンドセットは SIP 登録されていません。

ファームウェアリリース V450 およびV460 の端末 Web ページのフィールド


これらは、ベースステーションのターミナルウェブページに表示されたフィールドです。この画面を表示するには内線ページにあるハンドセットのIPEI番号をクリアします。

ページは、[管理者とユーザビュー]に表示されます。一部のフィールドはユーザビューでは使用できません。

このセクションは、ファームウェアリリース V450 および V460 に適しています。ファームウェアリリース 4.7 は、[ターミナル Web ページのフィールド \(11 ページ\)](#) を参照してください。

表 63: ターミナル Web ページのフィールド

フィールド	目次	説明
IPEI	10 文字列	ハンドセットの国際携帯機器識別情報 (IPEI) を識別します。各ハンドセットには固有の IPEI 番号があり、その番号はハンドセットバッテリーの下のラベルとハンドセットボックスのラベルに表示されます。 このフィールドを変更すると、ハンドセットの登録が解除されます。
ターミナルとペアリング	値： <ul style="list-style-type: none"> • ペアになっていない端末 • ハンドセット ID 	ハンドセットとペアになっている端末を識別します。

フィールド	目次	説明
AC	4桁のコード	<p>ハンドセットを登録するために使用されたアクセスコードを識別します。ハンドセット登録後、このコードは使用されません。</p> <p>(注) セキュリティを強化するためにシステムを設定するときは、これをデフォルトから変更することをお勧めします。</p>
アラームライン	<p>値：</p> <ul style="list-style-type: none"> アラーム行が選択されていない 電話番号 (Telephone number) 	アラームコールに使用する回線を指定します。
アラーム番号	電話番号	<p>ユーザがダイヤルする番号を指定します。緊急  ボタンを3秒以上押します。</p>
ダイヤルプランID	値：1-10	<p>管理者ビューのみ</p> <p>ダイヤルプラン Web ページのフィールド (52ページ) で設定されているダイヤルプランのインデックスを識別します。</p>
バッテリーと RSSI ステータス		
電池残量	割合 (Percentage)	<p>読み取り専用フィールド</p> <p>ハンドセットの現在の充電レベルを表示します。</p>
RSSI		<p>読み取り専用フィールド</p> <p>接続されているベースステーションまたはリピータの受信信号強度インジケータ (RSSI) を表示します。</p>
測定時刻 [分:秒]		<p>読み取り専用フィールド</p> <p>バッテリーおよびRSSI情報がハンドセットからキャプチャされてからの時間を分と秒で表示します。</p>


フィールド	目次	説明
場所		読み取り専用フィールド ハンドセットが通信する接続済みのベースステーションまたはリピーターを指定します。
ビーコン設定		
受信モード	値： • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効	管理者ビューのみ 将来使用するために予約されています。
送信間隔	値： • [無効(Disabled)] (デフォルト) • 有効	管理者ビューのみ 将来使用するために予約されています。
Alarm Profiles		
プロファイル 0~7		管理者ビューのみ アラームのリストを示します。
アラームタイプ	アラームの名前	管理者ビューのみ 特定のプロファイルに対して設定されているアラームの種類を示します。アラームが設定されていない場合、フィールドには設定されていませんと表示されます。
[アラームの種類] チェックボックス	チェックボックス (デフォルトではチェックされていない)	管理者ビューのみ 受話器でアクティブなアラームの種類を識別します。
共有コールピアランスの設定		
Idx 1~8		管理者ビューのみ 拡張機能のインデックス
[内線番号 (Extension)]	内線番号	管理者ビューのみ 共有コールピアランスをサポートするハンドセット回線を識別します。機能をサポートする回線がない場合は、フィールドに設定されていませんと表示されます。

フィールド	目次	説明
ローカル電話帳をインポート	ファイル名	ローカルディレクトリをコンマ区切り値 (CSV) 形式でコンピュータから電話機にアップロードするために使用されます。 詳細については、 ローカル連絡先 を参照してください。
ローカル電話帳をエクスポート		電話機からローカルディレクトリをCSV形式でコンピュータにエクスポートするために使用されます。 詳細については、 ローカル連絡先 を参照してください。

ハンドセットステータスの表示

問題のトラブルシューティングに役立つハンドセットの状態を見ることができます。情報には、ハンドセットにインストールされているファームウェアのバージョンと、接続されたベースステーションに関する情報が含まれます。

手順

ステップ1  を押す。

ステップ2  > 状態を選択します。

のサイト調査を実施する

自分のベースステーションが、ハンドセットが簡単に接続できるように配置されているかどうかについて、サイト調査を行ってください。各ベースステーションにiは、屋内で約164フィート（50メートル）、屋外で984フィート（300メートル）の無線範囲があります。ただし、壁やドアの構造（防火扉など）が原因で、他の機器との干渉が発生したり、カバレッジが低下したりする可能性があります。

サイト調査を実行します。

- 初期セットアップ中: ベースステーションを一時的な場所に配置し、それらの電源をオンにできます。LANに接続する必要はありません。調査を実行して、ハンドセットがベースと通信できるかどうかを確認します。

- セットアップが完了したら、調査を実行して、システムが正常に動作していることを確認して、接続に関する問題をトラブルシューティングします。

ハンドセットを使用して、カバーされるべき全領域でカバレッジがユーザーにとって良好であることをチェックします。




- (注) ハンドセットでは、ハンドセット無線の信号強度を調整できます。ただし、信号強度の変化については、サービスプロバイダーまたは Cisco TAC に相談することをお勧めします。


システムをセットアップしたとき、および領域に変更があったとき（壁の変更や新しい領域の追加など）に、この作業を実行してください。

始める前に

少なくとも 1 つのハンドセットが完全に充電されている必要があります。

手順

ステップ 1 ハンドセットで、画面がオンになるまで **パワー/エンド**  を長押しします。

ステップ 2 **メニュー**  を押す。

ステップ 3 *47* を入力して、範囲内でベースステーションとリピーターのリストを取得します。

ステップ 4 (任意) [**設定 (Settings)**] を押して、範囲の dBm しきい値を表示します。


- **緑 ~ 黄色**: 黄色の指示に対するしきい値を識別します。たとえば、このフィールドに -70dBm が含まれている場合、-69dBm を読み取ると緑色で表示され、-70dBm は黄色で表示されます。デフォルトは -70dBm です。
- **黄色 ~ 赤**: 赤の指示のしきい値を指定します。たとえば、このフィールドに -80dBm が含まれている場合、-79dBm の読み取りは黄色を表示し、-80dBm は赤色で表示されます。デフォルトは -80dBm です。



範囲を変更するには、次の手順に従います。


- エンティティの 1 つを強調表示して、**選択** を押下します。
- そのリストの新しい値を強調表示し、**選択** を押下します。

ステップ 5 **IP 検索** リストで MAC アドレスと IP アドレスのペアをハイライトし、**IP 検索** を押下します。

画面には、選択したベースステーションまたはリピータに関する次の情報が表示されます。

- 信号強度アイコン
 - ボックスが緑色の場合 : ハンドセットは現在位置のベースステーションまたはリピータと非常に良好に DECT 接続しています。

- ボックスが緑色の場合 : ハンドセットは現在位置のベースステーションまたはリピーターと非常に良好に DECT 接続しています。
 - 赤い丸のアイコンの場合 : ハンドセットが現在の場所でベースステーションと DECT 接触がない、または非常に乏しいです。この状況では、ベースステーションを良好なカバレッジが得られるように移動して、別のベースステーションを追加し、リピーターを追加します。
- Mac: ベースステーションの Mac アドレス。
 - IP: ベースステーションの IP アドレス。
ベースステーションの電源はオンになっているが LAN に接続されていない場合、ハンドセットは 0.0.0.0 表示されます。
 - RFPI: ベースステーションの Radio 固定パートアイデンティティ (RFPI)。
 - RSSI: ベースステーションからハンドセットへの信号の受信信号強度インジケータ。

ステップ6 メイン画面に戻るまで電源/終了  を押します。

ステップ7 別の場所に移動し、手順 2、3、5 を繰り返してカバレッジを確認します。
